

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち																																																							
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する																																																							
	3 目	学校建設費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる																																																							
小 事 業	吉浜小学校屋内運動場耐震補強事業費																																																											
事 業 名	吉浜小学校屋内運動場地震補強事業																																																											
目的及び事業内容	<p>本屋内運動場は、平成12年度に実施した耐震診断の結果、大規模な地震により倒壊又は崩壊する危険性が高いとされる I S 値0.3未満の施設であり、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき、「安全安心な学校づくり交付金」、平成20年6月に改正された「地震防災特別措置法」及び平成21年度に制定された「地域活性化・公共投資臨時交付金」の制度を適用し、平成20～21年度に実施した耐震補強設計を踏まえながら、平成21～22年度に耐震補強工事を実施する。</p> <p>また、建築非構造部材の天井材や照明器具の落下、ガラスの飛散等の防止対策（修繕工事）を実施する。</p>																																																											
取 組 実 績	<p>1 石巻市立学校施設耐震化整備計画の策定</p> <p>(1) 平成20年12月に市立学校施設（幼稚園含む）の耐震化について、全体の事業量を把握するとともに具体的な目標と期間を設定し、着実かつ計画的に推進することを目的として、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」を策定し、平成21年1月に市ホームページにて公表した。</p> <p>(2) 主な計画内容</p> <p>ア 耐震補強を要する47施設（20校舎・27屋内運動場）の耐震化について、平成20年度から平成29年度までの10年間で完了することを目標とする。</p> <p>イ 耐震化事業は、基本的に耐震性能の低い施設を優先し整備する。</p> <p>ウ 耐震化事業の手法は、建替方式ではなく、耐震補強工事を中心に進める。</p> <p>2 耐力度調査・耐震診断の実施</p> <p>本屋内運動場は、平成12年度に耐震診断を実施し、その結果、大規模な地震で倒壊等の危険性が高いとされる I S 値0.3未満（診断結果： I S 値0.11）で、耐震補強を要する判定となった。</p> <p>3 耐震補強設計・耐震補強工事の実施</p> <p>平成20～21年度に耐震補強設計、平成21～22年度に耐震補強工事を実施する。</p>																																																											
成 果	<p>1 耐震化状況（平成22年3月31日現在）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="4">区分</th> <th rowspan="4">全施設</th> <th colspan="4">耐震診断対象施設</th> <th rowspan="4">耐震診断 対象外施設</th> </tr> <tr> <th colspan="2">耐震診断実施施設</th> <th rowspan="2">耐震診断 未実施施設</th> <th rowspan="2"></th> </tr> <tr> <th>基準値以下</th> <th>基準値以上</th> <th></th> </tr> <tr> <th>未改修施設</th> <th>改修済施設</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>校・園舎</td> <td>71箇所</td> <td>17箇所</td> <td>8箇所</td> <td>17箇所</td> <td>0箇所</td> <td>29箇所</td> </tr> <tr> <td>屋内運動場</td> <td>65箇所</td> <td>26箇所</td> <td>6箇所</td> <td>6箇所</td> <td>0箇所</td> <td>27箇所</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>136箇所</td> <td>43箇所</td> <td>14箇所</td> <td>23箇所</td> <td>0箇所</td> <td>56箇所</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 事業実施計画（事業完了年度）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施年度</th> <th>校・園舎</th> <th>屋内運動場</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22～25</td> <td>8箇所</td> <td>14箇所</td> <td>22箇所</td> </tr> <tr> <td>H26～29</td> <td>9箇所</td> <td>12箇所</td> <td>21箇所</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>17箇所</td> <td>26箇所</td> <td>43箇所</td> </tr> </tbody> </table>					区分	全施設	耐震診断対象施設				耐震診断 対象外施設	耐震診断実施施設		耐震診断 未実施施設		基準値以下	基準値以上		未改修施設	改修済施設			校・園舎	71箇所	17箇所	8箇所	17箇所	0箇所	29箇所	屋内運動場	65箇所	26箇所	6箇所	6箇所	0箇所	27箇所	計	136箇所	43箇所	14箇所	23箇所	0箇所	56箇所	実施年度	校・園舎	屋内運動場	計	H22～25	8箇所	14箇所	22箇所	H26～29	9箇所	12箇所	21箇所	計	17箇所	26箇所	43箇所
区分	全施設	耐震診断対象施設						耐震診断 対象外施設																																																				
		耐震診断実施施設		耐震診断 未実施施設																																																								
		基準値以下	基準値以上																																																									
		未改修施設	改修済施設																																																									
校・園舎	71箇所	17箇所	8箇所	17箇所	0箇所	29箇所																																																						
屋内運動場	65箇所	26箇所	6箇所	6箇所	0箇所	27箇所																																																						
計	136箇所	43箇所	14箇所	23箇所	0箇所	56箇所																																																						
実施年度	校・園舎	屋内運動場	計																																																									
H22～25	8箇所	14箇所	22箇所																																																									
H26～29	9箇所	12箇所	21箇所																																																									
計	17箇所	26箇所	43箇所																																																									
成果に係る評価	<p>学校施設は、児童生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場であり、地域住民にとっては学習・文化・スポーツなどに利用されている公共施設として、また、災害発生時の避難場所として重要な役割を担っており、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき、学校施設の耐震化を着実かつ計画的に整備し、児童生徒の安全を守り、良好な教育環境の確保を図るとともに地域住民の安全と安心を確保していく必要がある。</p> <p>本屋内運動場は、平成12年度に実施した耐震診断の結果、大規模な地震により倒壊又は崩壊する危険性が高いとされる I S 値0.3未満（診断結果： I S 値0.11）の施設であり、平成20年6月に改正された「地震防災特別措置法」（平成22年度までの時限立法）の制度を適用し、平成20～21年度に耐震補強設計、平成21～22年度に耐震補強工事を実施する。</p>																																																											
予算の執行状況	（単位：円）																																																											
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																									
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																																						
1,983,500	1,683,500				1,683,500																																																							

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち																																																							
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する																																																							
	3 目	学校建設費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる																																																							
小 事 業	鮎川小学校屋内運動場耐震補強事業費																																																											
事 業 名	鮎川小学校屋内運動場地震補強事業																																																											
目的及び事業内容	<p>本屋内運動場は、平成19年度に実施した耐震診断の結果、大規模な地震により倒壊又は崩壊する危険性が高いとされる I S 値0.3未満の施設であり、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき、「安全安心な学校づくり交付金」、平成20年6月に改正された「地震防災特別措置法」及び平成21年度に制定された「地域活性化・公共投資臨時交付金」の制度を適用し、平成20～21年度に実施した耐震補強設計を踏まえながら、平成21～22年度に耐震補強工事を実施する。</p> <p>また、建築非構造部材の天井材や照明器具の落下、ガラスの飛散等の防止対策（修繕工事）を実施する。</p>																																																											
取 組 実 績	<p>1 石巻市立学校施設耐震化整備計画の策定</p> <p>(1) 平成20年12月に市立学校施設（幼稚園含む）の耐震化について、全体の事業量を把握するとともに具体的な目標と期間を設定し、着実かつ計画的に推進することを目的として、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」を策定し、平成21年1月に市ホームページにて公表した。</p> <p>(2) 主な計画内容</p> <p>ア 耐震補強を要する47施設（20校舎・27屋内運動場）の耐震化について、平成20年度から平成29年度までの10年間で完了することを目標とする。</p> <p>イ 耐震化事業は、基本的に耐震性能の低い施設を優先し整備する。</p> <p>ウ 耐震化事業の手法は、建替方式ではなく、耐震補強工事を中心に進める。</p> <p>2 耐力度調査・耐震診断の実施</p> <p>本屋内運動場は、平成19年度に耐震診断を実施し、その結果、大規模な地震で倒壊等の危険性が高いとされる I S 値0.3未満（診断結果： I S 値0.25）で、耐震補強を要する判定となった。</p> <p>3 耐震補強設計・耐震補強工事の実施</p> <p>平成20～21年度に耐震補強設計、平成21～22年度に耐震補強工事を実施する。</p>																																																											
成 果	<p>1 耐震化状況（平成22年3月31日現在）</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="4">区分</th> <th rowspan="4">全施設</th> <th colspan="4">耐震診断対象施設</th> <th rowspan="4">耐震診断 対象外施設</th> </tr> <tr> <th colspan="2">耐震診断実施施設</th> <th rowspan="2">耐震診断 未実施施設</th> <th rowspan="2"></th> </tr> <tr> <th>基準値以下</th> <th>基準値以上</th> <th></th> </tr> <tr> <th>未改修施設</th> <th>改修済施設</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>校・園舎</td> <td>71箇所</td> <td>17箇所</td> <td>8箇所</td> <td>17箇所</td> <td>0箇所</td> <td>29箇所</td> </tr> <tr> <td>屋内運動場</td> <td>65箇所</td> <td>26箇所</td> <td>6箇所</td> <td>6箇所</td> <td>0箇所</td> <td>27箇所</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>136箇所</td> <td>43箇所</td> <td>14箇所</td> <td>23箇所</td> <td>0箇所</td> <td>56箇所</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 事業実施計画（事業完了年度）</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>実施年度</th> <th>校・園舎</th> <th>屋内運動場</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22～25</td> <td>8箇所</td> <td>14箇所</td> <td>22箇所</td> </tr> <tr> <td>H26～29</td> <td>9箇所</td> <td>12箇所</td> <td>21箇所</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>17箇所</td> <td>26箇所</td> <td>43箇所</td> </tr> </tbody> </table>					区分	全施設	耐震診断対象施設				耐震診断 対象外施設	耐震診断実施施設		耐震診断 未実施施設		基準値以下	基準値以上		未改修施設	改修済施設			校・園舎	71箇所	17箇所	8箇所	17箇所	0箇所	29箇所	屋内運動場	65箇所	26箇所	6箇所	6箇所	0箇所	27箇所	計	136箇所	43箇所	14箇所	23箇所	0箇所	56箇所	実施年度	校・園舎	屋内運動場	計	H22～25	8箇所	14箇所	22箇所	H26～29	9箇所	12箇所	21箇所	計	17箇所	26箇所	43箇所
区分	全施設	耐震診断対象施設						耐震診断 対象外施設																																																				
		耐震診断実施施設		耐震診断 未実施施設																																																								
		基準値以下	基準値以上																																																									
		未改修施設	改修済施設																																																									
校・園舎	71箇所	17箇所	8箇所	17箇所	0箇所	29箇所																																																						
屋内運動場	65箇所	26箇所	6箇所	6箇所	0箇所	27箇所																																																						
計	136箇所	43箇所	14箇所	23箇所	0箇所	56箇所																																																						
実施年度	校・園舎	屋内運動場	計																																																									
H22～25	8箇所	14箇所	22箇所																																																									
H26～29	9箇所	12箇所	21箇所																																																									
計	17箇所	26箇所	43箇所																																																									
成果に係る評価	<p>学校施設は、児童生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場であり、地域住民にとっては学習・文化・スポーツなどに利用されている公共施設として、また、災害発生時の避難場所として重要な役割を担っており、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき、学校施設の耐震化を着実かつ計画的に整備し、児童生徒の安全を守り、良好な教育環境の確保を図るとともに地域住民の安全と安心を確保していく必要がある。</p> <p>本屋内運動場は、平成19年度に実施した耐震診断の結果、大規模な地震により倒壊又は崩壊する危険性が高いとされる I S 値0.3未満（診断結果： I S 値0.25）の施設であり、平成20年6月に改正された「地震防災特別措置法」（平成22年度までの時限立法）の制度を適用し、平成20～21年度に耐震補強設計、平成21～22年度に耐震補強工事を実施する。</p>																																																											
予算の執行状況	（単位：円）																																																											
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																									
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																																						
1,217,000	997,850				997,850																																																							

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち																																																							
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する																																																							
	3 目	学校建設費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる																																																							
小 事 業	中里小学校耐震補強事業費																																																											
事 業 名	中里小学校校舎地震補強事業																																																											
目的及び事業内容	<p>本校舎は、平成15年度に実施した耐震診断の結果、大規模な地震により倒壊又は崩壊する危険性があるとされる I S 値0.7未満の施設であり、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき、「安全安心な学校づくり交付金」の制度を適用し、平成21年度に実施した耐震補強設計を踏まえながら、平成22年度に耐震補強工事を実施する。</p>																																																											
取 組 実 績	<p>1 石巻市立学校施設耐震化整備計画の策定</p> <p>(1) 平成20年12月に市立学校施設（幼稚園含む）の耐震化について、全体の事業量を把握するとともに具体的な目標と期間を設定し、着実かつ計画的に推進することを目的として、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」を策定し、平成21年1月に市ホームページにて公表した。</p> <p>(2) 主な計画内容</p> <p>ア 耐震補強を要する47施設（20校舎・27屋内運動場）の耐震化について、平成20年度から平成29年度までの10年間で完了することを目標とする。</p> <p>イ 耐震化事業は、基本的に耐震性能の低い施設を優先し整備する。</p> <p>ウ 耐震化事業の手法は、建替方式ではなく、耐震補強工事を中心に進める。</p> <p>2 耐力度調査・耐震診断の実施</p> <p>本校舎は、平成15年度に耐震診断を実施し、その結果、大規模な地震で倒壊等の危険性があるとされる I S 値0.7未満（診断結果： I S 値0.30～0.48）で、耐震補強を要する判定となった。</p> <p>3 耐震補強設計・耐震補強工事の実施</p> <p>平成21年度に耐震補強設計、平成22年度に耐震補強工事を実施する。</p>																																																											
成 果	<p>1 耐震化状況（平成22年3月31日現在）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="4">区分</th> <th rowspan="4">全施設</th> <th colspan="4">耐震診断対象施設</th> <th rowspan="4">耐震診断 対象外施設</th> </tr> <tr> <th colspan="2">耐震診断実施施設</th> <th rowspan="2">耐震診断 未実施施設</th> <th rowspan="2"></th> </tr> <tr> <th>基準値以下</th> <th>基準値以上</th> <th></th> </tr> <tr> <th>未改修施設</th> <th>改修済施設</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>校・園舎</td> <td>71箇所</td> <td>17箇所</td> <td>8箇所</td> <td>17箇所</td> <td>0箇所</td> <td>29箇所</td> </tr> <tr> <td>屋内運動場</td> <td>65箇所</td> <td>26箇所</td> <td>6箇所</td> <td>6箇所</td> <td>0箇所</td> <td>27箇所</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>136箇所</td> <td>43箇所</td> <td>14箇所</td> <td>23箇所</td> <td>0箇所</td> <td>56箇所</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 事業実施計画（事業完了年度）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>実施年度</th> <th>校・園舎</th> <th>屋内運動場</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22～25</td> <td>8箇所</td> <td>14箇所</td> <td>22箇所</td> </tr> <tr> <td>H26～29</td> <td>9箇所</td> <td>12箇所</td> <td>21箇所</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>17箇所</td> <td>26箇所</td> <td>43箇所</td> </tr> </tbody> </table>					区分	全施設	耐震診断対象施設				耐震診断 対象外施設	耐震診断実施施設		耐震診断 未実施施設		基準値以下	基準値以上		未改修施設	改修済施設			校・園舎	71箇所	17箇所	8箇所	17箇所	0箇所	29箇所	屋内運動場	65箇所	26箇所	6箇所	6箇所	0箇所	27箇所	計	136箇所	43箇所	14箇所	23箇所	0箇所	56箇所	実施年度	校・園舎	屋内運動場	計	H22～25	8箇所	14箇所	22箇所	H26～29	9箇所	12箇所	21箇所	計	17箇所	26箇所	43箇所
区分	全施設	耐震診断対象施設						耐震診断 対象外施設																																																				
		耐震診断実施施設		耐震診断 未実施施設																																																								
		基準値以下	基準値以上																																																									
		未改修施設	改修済施設																																																									
校・園舎	71箇所	17箇所	8箇所	17箇所	0箇所	29箇所																																																						
屋内運動場	65箇所	26箇所	6箇所	6箇所	0箇所	27箇所																																																						
計	136箇所	43箇所	14箇所	23箇所	0箇所	56箇所																																																						
実施年度	校・園舎	屋内運動場	計																																																									
H22～25	8箇所	14箇所	22箇所																																																									
H26～29	9箇所	12箇所	21箇所																																																									
計	17箇所	26箇所	43箇所																																																									
成果に係る評価	<p>学校施設は、児童生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場であり、地域住民にとっては学習・文化・スポーツなどに利用されている公共施設として、また、災害発生時の避難場所として重要な役割を担っており、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき、学校施設の耐震化を着実かつ計画的に整備し、児童生徒の安全を守り、良好な教育環境の確保を図るとともに地域住民の安全と安心を確保していく必要がある。</p> <p>本校舎は、平成15年度に実施した耐震診断の結果、大規模な地震により倒壊又は崩壊する危険性があるとされる I S 値0.7未満（診断結果： I S 値0.30～0.48）の施設であり、平成21年度に耐震補強設計、平成22年度に耐震補強工事を実施する。</p>																																																											
（単位：円）																																																												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																									
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																																						
	4,830,000	4,830,000				4,830,000																																																						

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち																																																							
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する																																																							
	3 目	学校建設費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる																																																							
小 事 業	雄勝小学校屋内運動場耐震補強事業費																																																											
事 業 名	雄勝小学校屋内運動場地震補強事業																																																											
目的及び事業内容	<p>本屋内運動場は、平成19年度に実施した耐震診断の結果、大規模な地震により倒壊又は崩壊する危険性が高いとされる I S 値0.3未満の施設であり、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき、「安全安心な学校づくり交付金」、平成20年6月に改正された「地震防災特別措置法」及び平成21年度に制定された「地域活性化・公共投資臨時交付金」の制度を適用し、平成20～21年度に実施した耐震補強設計を踏まえながら、平成21～22年度に耐震補強工事を実施する。</p> <p>また、建築非構造部材の天井材や照明器具の落下、ガラスの飛散等の防止対策（修繕工事）を実施する。</p>																																																											
取 組 実 績	<p>1 石巻市立学校施設耐震化整備計画の策定</p> <p>(1) 平成20年12月に市立学校施設（幼稚園含む）の耐震化について、全体の事業量を把握するとともに具体的な目標と期間を設定し、着実かつ計画的に推進することを目的として、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」を策定し、平成21年1月に市ホームページにて公表した。</p> <p>(2) 主な計画内容</p> <p>ア 耐震補強を要する47施設（20校舎・27屋内運動場）の耐震化について、平成20年度から平成29年度までの10年間で完了することを目標とする。</p> <p>イ 耐震化事業は、基本的に耐震性能の低い施設を優先し整備する。</p> <p>ウ 耐震化事業の手法は、建替方式ではなく、耐震補強工事を中心に進める。</p> <p>2 耐力度調査・耐震診断の実施</p> <p>本屋内運動場は、平成19年度に耐震診断を実施し、その結果、大規模な地震で倒壊等の危険性が高いとされる I S 値0.3未満（診断結果： I S 値0.29）で、耐震補強を要する判定となった。</p> <p>3 耐震補強設計・耐震補強工事の実施</p> <p>平成20～21年度に耐震補強設計、平成21～22年度に耐震補強工事を実施する。</p>																																																											
成 果	<p>1 耐震化状況（平成22年3月31日現在）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="4">区分</th> <th rowspan="4">全施設</th> <th colspan="4">耐震診断対象施設</th> <th rowspan="4">耐震診断 対象外施設</th> </tr> <tr> <th colspan="2">耐震診断実施施設</th> <th rowspan="2">耐震診断 未実施施設</th> <th rowspan="2"></th> </tr> <tr> <th>基準値以下</th> <th>基準値以上</th> <th></th> </tr> <tr> <th>未改修施設</th> <th>改修済施設</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>校・園舎</td> <td>71箇所</td> <td>17箇所</td> <td>8箇所</td> <td>17箇所</td> <td>0箇所</td> <td>29箇所</td> </tr> <tr> <td>屋内運動場</td> <td>65箇所</td> <td>26箇所</td> <td>6箇所</td> <td>6箇所</td> <td>0箇所</td> <td>27箇所</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>136箇所</td> <td>43箇所</td> <td>14箇所</td> <td>23箇所</td> <td>0箇所</td> <td>56箇所</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 事業実施計画（事業完了年度）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>実施年度</th> <th>校・園舎</th> <th>屋内運動場</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22～25</td> <td>8箇所</td> <td>14箇所</td> <td>22箇所</td> </tr> <tr> <td>H26～29</td> <td>9箇所</td> <td>12箇所</td> <td>21箇所</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>17箇所</td> <td>26箇所</td> <td>43箇所</td> </tr> </tbody> </table>					区分	全施設	耐震診断対象施設				耐震診断 対象外施設	耐震診断実施施設		耐震診断 未実施施設		基準値以下	基準値以上		未改修施設	改修済施設			校・園舎	71箇所	17箇所	8箇所	17箇所	0箇所	29箇所	屋内運動場	65箇所	26箇所	6箇所	6箇所	0箇所	27箇所	計	136箇所	43箇所	14箇所	23箇所	0箇所	56箇所	実施年度	校・園舎	屋内運動場	計	H22～25	8箇所	14箇所	22箇所	H26～29	9箇所	12箇所	21箇所	計	17箇所	26箇所	43箇所
区分	全施設	耐震診断対象施設						耐震診断 対象外施設																																																				
		耐震診断実施施設		耐震診断 未実施施設																																																								
		基準値以下	基準値以上																																																									
		未改修施設	改修済施設																																																									
校・園舎	71箇所	17箇所	8箇所	17箇所	0箇所	29箇所																																																						
屋内運動場	65箇所	26箇所	6箇所	6箇所	0箇所	27箇所																																																						
計	136箇所	43箇所	14箇所	23箇所	0箇所	56箇所																																																						
実施年度	校・園舎	屋内運動場	計																																																									
H22～25	8箇所	14箇所	22箇所																																																									
H26～29	9箇所	12箇所	21箇所																																																									
計	17箇所	26箇所	43箇所																																																									
成果に係る評価	<p>学校施設は、児童生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場であり、地域住民にとっては学習・文化・スポーツなどに利用されている公共施設として、また、災害発生時の避難場所として重要な役割を担っており、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき、学校施設の耐震化を着実かつ計画的に整備し、児童生徒の安全を守り、良好な教育環境の確保を図るとともに地域住民の安全と安心を確保していく必要がある。</p> <p>本屋内運動場は、平成19年度に実施した耐震診断の結果、大規模な地震により倒壊又は崩壊する危険性が高いとされる I S 値0.3未満（診断結果： I S 値0.29）の施設であり、平成20年6月に改正された「地震防災特別措置法」（平成22年度までの時限立法）の制度を適用し、平成20～21年度に耐震補強設計、平成21～22年度に耐震補強工事を実施する。</p>																																																											
予算の執行状況	（単位：円）																																																											
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																									
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																																						
1,532,000	1,297,100				1,297,100																																																							

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち																																					
	3 項	中学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する																																					
	1 目	学校管理費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる																																					
小 事 業	中学校管理費（教育総務課）																																									
事 業 名	遠距離通学支援事業（中学校）																																									
目的及び事業内容	<p>遠距離通学の対象となるすべての生徒に対し、公共交通機関やスクールバスの活用を促すことにより、安全且つ安心して通学できる仕組みを提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールバス等の運行</li> <li>・遠距離通学費補助金の交付</li> </ul>																																									
取 組 実 績	<p>遠距離通学の対象者のスクールバス、ボートの活用及び公共交通機関を活用した生徒への、交通費の助成を行なった。</p> <p>1 スクールバス等運行委託料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>年度</th> <th>学校数</th> <th>対象人数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">スクールバス</td> <td>H20</td> <td>4校</td> <td>93人</td> <td>15,563,701円</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>4校</td> <td>82人</td> <td>15,471,601円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">スクールボート</td> <td>H20</td> <td>0校</td> <td>0人</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>1校</td> <td>1人</td> <td>1,612,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 遠距離通学補助金</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>年度</th> <th>学校数</th> <th>対象人数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">遠距離通学</td> <td>H20</td> <td>1校</td> <td>16人</td> <td>1,623,330円</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>1校</td> <td>9人</td> <td>847,220円</td> </tr> </tbody> </table>					区分	年度	学校数	対象人数	金額	スクールバス	H20	4校	93人	15,563,701円	H21	4校	82人	15,471,601円	スクールボート	H20	0校	0人	0円	H21	1校	1人	1,612,000円	区分	年度	学校数	対象人数	金額	遠距離通学	H20	1校	16人	1,623,330円	H21	1校	9人	847,220円
区分	年度	学校数	対象人数	金額																																						
スクールバス	H20	4校	93人	15,563,701円																																						
	H21	4校	82人	15,471,601円																																						
スクールボート	H20	0校	0人	0円																																						
	H21	1校	1人	1,612,000円																																						
区分	年度	学校数	対象人数	金額																																						
遠距離通学	H20	1校	16人	1,623,330円																																						
	H21	1校	9人	847,220円																																						
成 果	<p>学校統廃合などにより遠距離通学となった生徒へスクールバス等の運行や公共交通機関の利用を促すことで、登下校の安全の確保が図られた。</p>																																									
成果に係る評価	<p>遠距離通学生徒の安全・安心を図るため継続が必要な事業であるが、地域の実情を考慮しつつ、適正な運行を模索していく必要がある。</p>																																									
予算の執行状況	（単位：円）																																									
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																							
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																				
18,444,180	17,930,821	2,247,000			15,683,821																																					

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち										
	3 項	中学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する										
	1 目	学校管理費		( 2 )	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ										
小 事 業	中学校保健費														
事 業 名	学校医・薬剤師配置事業（中学校）														
目的及び事業内容	各学校に学校医等を配置し定期健診、健康相談及び衛生点検等を実施することにより、生徒に係る疾病の早期発見に努めるとともに予防指導の強化を図る。 ・学校医の配置 ・学校薬剤師の配置														
取 組 実 績	<p>1 学校医の配置 市立中学校23校に、学校医を委嘱（内科、眼科、耳鼻科、歯科）し、定期健康診断や教育相談などの健診業務を実施</p> <p>・委嘱した学校医の人数</p> <table border="1"> <tr> <td>内 科 医</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>眼 科 医</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>耳 鼻 科 医</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>歯 科 医</td> <td>21人</td> </tr> </table> <p>2 学校薬剤師の配置 市立中学校23校に、学校薬剤師を委嘱し、飲料水及びプール水質の検査、教室の明るさ、空気の汚れ具合などの検査を実施</p> <p>・委嘱した学校薬剤師の人数</p> <table border="1"> <tr> <td>薬 剤 師</td> <td>16人</td> </tr> </table>					内 科 医	20人	眼 科 医	6人	耳 鼻 科 医	6人	歯 科 医	21人	薬 剤 師	16人
内 科 医	20人														
眼 科 医	6人														
耳 鼻 科 医	6人														
歯 科 医	21人														
薬 剤 師	16人														
成 果	<p>1 定期健康診断等の結果に基づき、保護者、学校に対して的確な指導と助言が行われ、生徒の健全育成や健康の保持増進が図られた。</p> <p>2 学校施設における日常点検や定期検査の実施等により、学校内の環境衛生の実態を把握し、基準に示された学校環境の維持や、必要に応じた対策を講じることができた。</p>														
成果に係る評価	生徒に対して的確な予防指導を行っていくうえで重要な事業であり、今後も続けていく必要がある。ただ、眼科、耳鼻科などの医師不足が深刻化しており、一人の医師が複数の学校医を兼務している実態もあることから、市立病院とも連携を図るなど、学校への医師派遣事業を継続する必要がある。														
予算の執行状況	（単位：円）														
	予算額	決算額	決算額の財源内訳												
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源									
17,335,000	16,671,727	686,000			15,985,727										

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち									
	3 項	中学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する									
	1 目	学校管理費		( 2 )	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ									
小 事 業		中学校保健費												
事 業 名		健康診断・検査等実施事業（中学校）												
目的及び事業内容		<p>定期的な健康診断や各種検査を行うことにより、生徒の健康の保持増進を図り、病気等の早期発見に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期健康診断の実施</li> <li>・飲料水水質検査の実施</li> </ul>												
取 組 実 績		<p>1 生徒の健康診断検査項目 内科健診、眼科健診、耳鼻科健診、歯科検診、結核健診、心臓病検診、尿検査、貧血・脂質検査 定期健康診断については、市内中学校全学年、心臓病健診については、対象学年である1年生に実施した。</p> <p>2 飲料水水質検査項目 遊離残留塩素、色度・濁度・臭気・味、水素イオン濃度、一般細菌、大腸菌、塩化物イオン、全有機炭素、鉄 中学校各校の上水道を飲料水とするため、年1回残留塩素及び大腸菌などの水質検査を行う。</p>												
成 果		<p>定期健康診断を行い、生徒の病気の早期発見、早期治療、生活習慣の改善を促し、生徒の健康管理に努めた。また、学校の水道を飲料水としていることから、水質検査を行うことで、安全な環境の維持を図った。</p> <table border="1"> <tr> <td>1 定期健康診断</td> <td>中学生</td> <td>4,751人</td> </tr> <tr> <td>心臓病検診</td> <td>1年生</td> <td>1,527人</td> </tr> <tr> <td>2 飲料水水質検査</td> <td>中学校</td> <td>23校</td> </tr> </table>				1 定期健康診断	中学生	4,751人	心臓病検診	1年生	1,527人	2 飲料水水質検査	中学校	23校
1 定期健康診断	中学生	4,751人												
心臓病検診	1年生	1,527人												
2 飲料水水質検査	中学校	23校												
成果に係る評価		<p>生徒の健康を保持・増進していくためには不可欠な事業であり、今後も続けていく必要がある。近年、生活習慣や食生活の乱れなどの理由により、肥満や生活習慣病といった病気の低年齢化が進み、社会的な問題となっていることから、今後は定期健診や各種検査のあり方について、検討していく必要がある。</p>												
(単位：円)														
予算の執行状況	予算額		決算額の財源内訳											
	決算額		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源								
	7,798,700	7,514,385	69,000			7,445,385								

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち								
	3 項	中学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する								
	1 目	学校管理費		( 2 )	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ								
小 事 業		特別支援教育共同実習所費											
事 業 名		特別支援教育共同実習事業											
目的及び事業内容		<p>障害を持つ生徒が、共同実習を通して協調性や自発性、忍耐力などを養い、社会人として自立できる素地を養う。</p> <p>・共同実習の実施</p>											
取 組 実 績		<p>共同実習の実施</p> <p>1 全中学校に拡大し、2つのグループに分け、それぞれ週2回の実習を実施した。 Aグループ（火・木曜日）、Bグループ（水・金曜日）</p> <p>2 主な実習内容 ブロック制作、縫装、菜園、陶芸、情報技術演習、紙工実習、職場見学、宿泊的行事等</p>											
成 果		<p>市内全中学校からの受け入れによって集団での活動が可能となり、互いに支援しあう立場になることで個々の生徒の協調性や社会性が身に付いたほか、自己有用感や自立心が育成された。また、生徒一人一人の能力に応じた将来の職業生活の基盤となる知識・技能・態度を身に付けさせることができた。</p> <p>さらに、特別支援教育担当者の情報交換を通して、各学校での個別指導の充実に役立てることができた。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受け入れ人数 (うち旧町)</td> <td>36人</td> <td>47人 (16人)</td> <td>38人 (13人)</td> </tr> </tbody> </table>				主な指標項目	H19	H20	H21	受け入れ人数 (うち旧町)	36人	47人 (16人)	38人 (13人)
主な指標項目	H19	H20	H21										
受け入れ人数 (うち旧町)	36人	47人 (16人)	38人 (13人)										
成果に係る評価		<p>平成20年度から受け入れ対象を市内全中学校に拡大し、生徒の自立支援、交流及び教員の情報交換等に成果を上げていることから、今後も継続して推進していく必要がある。施設の建設候補地に関しては、全市の各地域から通所する際の利便性や他校生徒等との交流、緊急時の対応などを考慮して、施設の新築移転について早急な対応が必要である。(平成19年12月、河北中学校敷地内への新築移転が適当との特別支援教育共同実習所検討協議会から答申を受けている)</p>											
(単位：円)													
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳										
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源							
	10,086,000	9,718,814				9,718,814							

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち																																										
	3 項	中学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する																																										
	1 目	学校管理費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる																																										
小 事 業	牡鹿地区中学校統合関係費																																														
事 業 名	牡鹿地区中学校統合関係事業																																														
目的及び事業内容	<p>適正な教育効果の確保と効率的な学校運営を図るため、牡鹿地区の3中学校を統合し、新設の牡鹿中学校を円滑に開校するため各種整備を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新設校に必要な備品等の整備</li> <li>・廃止となる学校の歴史や伝統の伝承</li> <li>・新設校として引き続き活用する鮎川中学校校舎等の修繕</li> </ul>																																														
取 組 実 績	<p>1 牡鹿地区中学校統合までの経過</p> <p>(1) 旧牡鹿町時代から生徒数の減少や校舎の老朽化等を背景とした教育環境の整備について、地区住民や議会において議論</p> <p>(2) 平成19年2月から牡鹿地区教育懇談会の開催</p> <p>(3) 平成20年教育委員会第4回定例会において、「牡鹿地区中学校統合基本方針」を可決</p> <p>(4) 平成20年6月、牡鹿地区中学校統合検討委員会会長、牡鹿地区父母教師会連絡協議会会長及び牡鹿地区行政委員会会長の3者の連名による、市長及び教育長あての「牡鹿地区中学校統合に係る報告書」を受理</p> <p>(5) 平成20年7月、学校経営、生徒指導・生徒活動、教育課程、校歌・制服の制定等、統合に関する必要事項を検討するため、牡鹿地区の中学校教職員、小・中学校父母教師会等関係者を構成員として「牡鹿地区中学校統合準備委員会」を発足</p> <p>(6) 平成22年3月31日鮎川・大原・寄磯中学校閉校、同年4月1日牡鹿中学校開校</p> <p>2 統合関係事業</p> <p>(1) 校章、校歌及び校旗作成</p> <p>(2) 閉校記念碑設置（3基）</p> <p>(3) 牡鹿中学校駐車場整備</p> <p>(4) 施設修繕、備品整備</p>																																														
成 果	<p>集団教育による適正な教育効果の確保が図られた。</p> <p>統合前生徒数（平成21年5月1日現在）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>1学年</th> <th>2学年</th> <th>3学年</th> <th>特別支援</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鮎川中学校</td> <td>15 人</td> <td>4 人</td> <td>14 人</td> <td>0 人</td> <td>33 人</td> </tr> <tr> <td>大原中学校</td> <td>20 人</td> <td>17 人</td> <td>15 人</td> <td>1 人</td> <td>53 人</td> </tr> <tr> <td>寄磯中学校</td> <td>4 人</td> <td>5 人</td> <td>3 人</td> <td>1 人</td> <td>13 人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>39 人</td> <td>26 人</td> <td>32 人</td> <td>2 人</td> <td>99 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>統合後生徒数（平成22年5月1日現在）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>1学年</th> <th>2学年</th> <th>3学年</th> <th>特別支援</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>牡鹿中学校</td> <td>35 人</td> <td>39 人</td> <td>26 人</td> <td>2 人</td> <td>102 人</td> </tr> </tbody> </table>					学校名	1学年	2学年	3学年	特別支援	計	鮎川中学校	15 人	4 人	14 人	0 人	33 人	大原中学校	20 人	17 人	15 人	1 人	53 人	寄磯中学校	4 人	5 人	3 人	1 人	13 人	合計	39 人	26 人	32 人	2 人	99 人	学校名	1学年	2学年	3学年	特別支援	計	牡鹿中学校	35 人	39 人	26 人	2 人	102 人
学校名	1学年	2学年	3学年	特別支援	計																																										
鮎川中学校	15 人	4 人	14 人	0 人	33 人																																										
大原中学校	20 人	17 人	15 人	1 人	53 人																																										
寄磯中学校	4 人	5 人	3 人	1 人	13 人																																										
合計	39 人	26 人	32 人	2 人	99 人																																										
学校名	1学年	2学年	3学年	特別支援	計																																										
牡鹿中学校	35 人	39 人	26 人	2 人	102 人																																										
成果に係る評価	<p>牡鹿地区中学校の統合については、地域からの要望に基づき、予定どおり進めることができた。今後は、平成22年1月に策定した「市立小中学校の適正規模・適正配置に関する基本方針」を基に、地域住民や保護者との教育懇談を重ねた後、「地域との合意や求めに応じた個別計画」を策定し、適正な学校配置の実現を目指す。</p>																																														
予算の執行状況	（単位：円）																																														
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																												
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																									
22,279,000	21,647,391				21,647,391																																										

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち																		
	3 項	中学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する																		
	2 目	教育振興費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる																		
小 事 業	中学校教育振興援助費																						
事 業 名	就学援助・特別支援教育就学奨励事業（中学校）																						
目的及び事業内容	<p>経済的な事情により就学が困難な生徒の保護者に対し就学費の助成を行うとともに、特別支援学級へ就学する生徒の保護者に対し就学奨励費の助成を行うことにより、教育機会の均等な提供に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就学援助費の助成</li> <li>・特別支援教育就学奨励費の助成</li> </ul>																						
取 組 実 績	1 就学援助費 助成	認定者数 662人	<table border="1"> <tr><td>学用品費</td><td>14,969,930 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（泊無し）</td><td>415,084 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（泊付き）</td><td>665,913 円</td></tr> <tr><td>通学費</td><td>0 円</td></tr> <tr><td>新入学用品費</td><td>4,442,600 円</td></tr> <tr><td>修学旅行費</td><td>12,970,260 円</td></tr> <tr><td>給食費</td><td>29,830,516 円</td></tr> <tr><td>医療費</td><td>1,365,180 円</td></tr> <tr><td>計</td><td>64,659,483 円</td></tr> </table>			学用品費	14,969,930 円	校外活動費（泊無し）	415,084 円	校外活動費（泊付き）	665,913 円	通学費	0 円	新入学用品費	4,442,600 円	修学旅行費	12,970,260 円	給食費	29,830,516 円	医療費	1,365,180 円	計	64,659,483 円
	学用品費	14,969,930 円																					
校外活動費（泊無し）	415,084 円																						
校外活動費（泊付き）	665,913 円																						
通学費	0 円																						
新入学用品費	4,442,600 円																						
修学旅行費	12,970,260 円																						
給食費	29,830,516 円																						
医療費	1,365,180 円																						
計	64,659,483 円																						
2 特別支援教育就学奨励費 助成	認定者数 39人	<table border="1"> <tr><td>学用品費</td><td>265,555 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（泊無し）</td><td>4,200 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（泊付き）</td><td>15,878 円</td></tr> <tr><td>通学費</td><td>83,063 円</td></tr> <tr><td>新入学用品費</td><td>91,600 円</td></tr> <tr><td>修学旅行費</td><td>197,812 円</td></tr> <tr><td>給食費</td><td>525,539 円</td></tr> <tr><td>交流学习/職場実習交通費</td><td>4,744,892 円</td></tr> <tr><td>計</td><td>5,928,539 円</td></tr> </table>			学用品費	265,555 円	校外活動費（泊無し）	4,200 円	校外活動費（泊付き）	15,878 円	通学費	83,063 円	新入学用品費	91,600 円	修学旅行費	197,812 円	給食費	525,539 円	交流学习/職場実習交通費	4,744,892 円	計	5,928,539 円	
学用品費	265,555 円																						
校外活動費（泊無し）	4,200 円																						
校外活動費（泊付き）	15,878 円																						
通学費	83,063 円																						
新入学用品費	91,600 円																						
修学旅行費	197,812 円																						
給食費	525,539 円																						
交流学习/職場実習交通費	4,744,892 円																						
計	5,928,539 円																						
成 果	<p>経済的に就学困難な生徒の保護者へ学校で必要となる経費を援助することにより、義務教育を円滑に実施することができた。</p> <p>また、特別支援学級へ通う生徒の保護者へ必要な経費を援助することにより、経済的負担を軽減し、特別支援教育の振興を図ることができた。</p>																						
成果に係る評価	<p>経済的に就学困難な家庭や、特別支援学級に通級する生徒の保護者へ経済的に支援することにより、生徒の就学を確保し円滑な義務教育を図ることができることから今後も継続していく必要のある事業である。</p> <p>ただし、経済情勢が厳しいことを踏まえて、今後は認定基準や支給基準についてその状況に応じ柔軟に対応することが必要である。</p>																						
（単位：円）																							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																				
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																	
	74,909,000	70,604,022	2,770,000			67,834,022																	

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち								
	3 項	中学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する								
	2 目	教育振興費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる								
小 事 業	中学校図書整備事業費、中学校図書整備事業費（経済危機対策分）												
事 業 名	学校図書整備事業（中学校）〔経済〕												
目的及び事業内容	全国的な傾向である中学生の読書離れが進む中、文部科学省では子どもの読書活動の推進や学校教育における言語力の涵養に資するためには、学校図書館の充実が必要であるとの認識に基づき、平成19年度から平成23年度まで「新学校図書館図書整備5カ年計画」を策定し、整備を推進している。本市も学校教育の中で、学校図書を積極的に活用し、児童の読書活動を一層推進することにより豊かな人格形成、基礎的な言語力を育む等、学習効果の向上を図るために、市内中学校の学校図書を整備するもの。平成24年度末には、当面の整備目標である、市内全ての中学校が「学校図書館図書標準」の充足率50%以上となることを目標とし、整備を実施する。												
取 組 実 績	<p>学校図書整備の当面の整備目標である、市内全ての中学校において、学校図書館標準書数に対する充足率50%以上となることを目標とし、低充足率の学校に予算を重点配分したことによる購入のほか、厚意での図書の寄附による整備により学校図書の充実を図った。</p> <p>&lt;中学校図書の整備冊数&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H18</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4,065冊</td> <td>3,829冊</td> <td>3,527冊</td> <td>7,720冊</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 寄附・寄贈含む（緊急経済対策事業による購入冊数も含む）</p>					H18	H19	H20	H21	4,065冊	3,829冊	3,527冊	7,720冊
H18	H19	H20	H21										
4,065冊	3,829冊	3,527冊	7,720冊										
成 果	<p>学校図書の整備充実を図り、学習活動に積極的に活用することにより学習効果が図られ、児童生徒が自ら進んで言葉を学び、感性・表現力・創造力等の生きる力がより育成された。</p> <p>&lt;中学校図書の充足率&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H18</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>55.04%</td> <td>52.68%</td> <td>55.83%</td> <td>59.56%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 平成21年度末での充足率50%の達成校 11校  ※ 数値は市内中学校の平均である</p>					H18	H19	H20	H21	55.04%	52.68%	55.83%	59.56%
H18	H19	H20	H21										
55.04%	52.68%	55.83%	59.56%										
成果に係る評価	学校図書を学習活動に積極的に活用し、学習効果の向上を図るには、児童生徒の課題解決に沿った図書が整備充実され、いつでも気軽に利用できるような環境を整えることが必要であり、学校図書整備はその基本となる事業である。												
予算の執行状況	（単位：円）												
	予算額	決算額	決算額の財源内訳										
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源							
14,400,000	14,029,332	7,300,000			6,729,332								

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち								
	3 項	中学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する								
	2 目	教育振興費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる								
小 事 業	中学校教育用コンピューター関係費、中学校教育用コンピューター関係費（生活対策分）												
事 業 名	情報教育環境整備事業（中学校）〔生活〕												
目的及び事業内容	国際化、高度情報化、技術革新等社会情勢の変化に対応した情報教育環境を計画的に整備する。 市内中学校の教育用コンピューター及び周辺機器の更新及び賃貸借（購入又はリース）												
取 組 実 績	<p>中学校教育用コンピューター整備状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>整備年度</th> <th>整備内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H17</td> <td>石巻地区6校：普通教室及びPC教室に計344台整備 河南地区2校：普通教室及びPC教室に計94台整備 牡鹿地区3校：PC教室に計54台整備</td> </tr> <tr> <td>H19</td> <td>石巻地区3校：普通教室及びPC教室に計158台整備 雄勝地区2校：普通教室及びPC教室に計62台整備 北上地区1校：普通教室及びPC教室に計45台整備</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>河北地区3校：普通教室及びPC教室に計90台整備 桃生地区1校：普通教室及びPC教室に計42台整備</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成20年度については、以前に更新したリース料金等の支払いのみ ※平成21年度については、緊急経済対策事業で実施</p>					整備年度	整備内容	H17	石巻地区6校：普通教室及びPC教室に計344台整備 河南地区2校：普通教室及びPC教室に計94台整備 牡鹿地区3校：PC教室に計54台整備	H19	石巻地区3校：普通教室及びPC教室に計158台整備 雄勝地区2校：普通教室及びPC教室に計62台整備 北上地区1校：普通教室及びPC教室に計45台整備	H21	河北地区3校：普通教室及びPC教室に計90台整備 桃生地区1校：普通教室及びPC教室に計42台整備
整備年度	整備内容												
H17	石巻地区6校：普通教室及びPC教室に計344台整備 河南地区2校：普通教室及びPC教室に計94台整備 牡鹿地区3校：PC教室に計54台整備												
H19	石巻地区3校：普通教室及びPC教室に計158台整備 雄勝地区2校：普通教室及びPC教室に計62台整備 北上地区1校：普通教室及びPC教室に計45台整備												
H21	河北地区3校：普通教室及びPC教室に計90台整備 桃生地区1校：普通教室及びPC教室に計42台整備												
成 果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童がITの活用方法に慣れ親しみ、習熟して、主体的に活用できるよう情報活用能力の育成が図られた。</li> <li>・情報社会に参画する態度が育成され、情報モラル教育の推進が図られた。</li> <li>・各教科等においてデジタルコンテンツを活用し、分かりやすい授業を実現できた。</li> </ul>												
成果に係る評価	<p>市内中学校の教育用コンピューターについては、文部科学省の整備基準（生徒3.6人に1台、普通教室・特別教室に校内LANの設置）を定めているが、本市の現状に促した有効的な整備内容を考察しながら、計画的に整備する。</p> <p>近年は購入による整備が進んでいることから、機器整備後の維持補修負荷が増大しており、今後の機器方法等を検討し、事務効率の向上を図りたい。</p>												
予算の執行状況	（単位：円）												
	予算額	決算額	決算額の財源内訳										
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源							
102,964,000	102,430,262			30,000,000	72,430,262								

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち																																																					
	3 項	中学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する																																																					
	3 目	学校建設費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる																																																					
小 事 業	門脇中学校屋内運動場改築事業費																																																									
事 業 名	門脇中学校屋内運動場改築事業〔公共〕																																																									
目的及び事業内容	<p>本屋内運動場は、昭和39年度に建築されたものであり、老朽化による機能低下が著しく、中学校体育施設として狭隘で設備面も不足しており、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき、「安全安心な学校づくり交付金」、「公立学校施設整備費負担金」及び平成21年度に制定された「地域活性化・公共投資臨時交付金」の制度を適用し、平成19年度の基本設計、平成20年度の耐力度調査及び実施設計の結果を踏まえながら、平成21～22年度に改築工事を実施する。なお、耐力度調査の結果は、耐力度点数が基準値を下回り、危険建物として判定されている。</p> <p>〔設計概要〕 構造：R造2階建て（1階：武道場、2階：アリーナ）、面積：1,565㎡</p>																																																									
取 組 実 績	<p>1 石巻市立学校施設耐震化整備計画の策定</p> <p>(1) 平成20年12月に市立学校施設（幼稚園含む）の耐震化について、全体の事業量を把握するとともに具体的な目標と期間を設定し、着実かつ計画的に推進することを目的として、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」を策定し、平成21年1月に市ホームページにて公表した。</p> <p>(2) 主な計画内容</p> <p>ア 耐震補強を要する47施設（20校舎・27屋内運動場）の耐震化について、平成20年度から平成29年度までの10年間で完了することを目標とする。</p> <p>イ 耐震化事業は、基本的に耐震性能の低い施設を優先し整備する。</p> <p>ウ 耐震化事業の手法は、建替方式ではなく、耐震補強工事を中心に進める。</p> <p>2 耐力度調査・耐震診断の実施</p> <p>本屋内運動場は、平成20年度に老朽化等による建替を前提として、耐力度調査を実施し、その結果、基準値4,500点を下回り（調査結果：耐力度2,440点）、危険建物として改築を要する判定となった。</p> <p>3 耐震補強設計・耐震補強工事の実施</p> <p>平成20～21年度に耐震補強設計、平成21～22年度に耐震補強工事を実施する。</p>																																																									
成 果	<p>1 耐震化状況（平成22年3月31日現在）</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="4">区分</th> <th rowspan="4">全施設</th> <th colspan="4">耐震診断対象施設</th> <th rowspan="4">耐震診断 未実施施設</th> <th rowspan="4">耐震診断 対象外施設</th> </tr> <tr> <th colspan="2">耐震診断実施施設</th> <th rowspan="3">基準値以上</th> <th rowspan="3"></th> </tr> <tr> <th colspan="2">基準値以下</th> </tr> <tr> <th>未改修施設</th> <th>改修済施設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>校・園舎</td> <td>71箇所</td> <td>17箇所</td> <td>8箇所</td> <td>17箇所</td> <td>0箇所</td> <td>29箇所</td> </tr> <tr> <td>屋内運動場</td> <td>65箇所</td> <td>26箇所</td> <td>6箇所</td> <td>6箇所</td> <td>0箇所</td> <td>27箇所</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>136箇所</td> <td>43箇所</td> <td>14箇所</td> <td>23箇所</td> <td>0箇所</td> <td>56箇所</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 事業実施計画（事業完了年度）</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>実施年度</th> <th>校・園舎</th> <th>屋内運動場</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22～25</td> <td>8箇所</td> <td>14箇所</td> <td>22箇所</td> </tr> <tr> <td>H26～29</td> <td>9箇所</td> <td>12箇所</td> <td>21箇所</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>17箇所</td> <td>26箇所</td> <td>43箇所</td> </tr> </tbody> </table>					区分	全施設	耐震診断対象施設				耐震診断 未実施施設	耐震診断 対象外施設	耐震診断実施施設		基準値以上		基準値以下		未改修施設	改修済施設	校・園舎	71箇所	17箇所	8箇所	17箇所	0箇所	29箇所	屋内運動場	65箇所	26箇所	6箇所	6箇所	0箇所	27箇所	計	136箇所	43箇所	14箇所	23箇所	0箇所	56箇所	実施年度	校・園舎	屋内運動場	計	H22～25	8箇所	14箇所	22箇所	H26～29	9箇所	12箇所	21箇所	計	17箇所	26箇所	43箇所
区分	全施設	耐震診断対象施設						耐震診断 未実施施設	耐震診断 対象外施設																																																	
		耐震診断実施施設		基準値以上																																																						
		基準値以下																																																								
		未改修施設	改修済施設																																																							
校・園舎	71箇所	17箇所	8箇所	17箇所	0箇所	29箇所																																																				
屋内運動場	65箇所	26箇所	6箇所	6箇所	0箇所	27箇所																																																				
計	136箇所	43箇所	14箇所	23箇所	0箇所	56箇所																																																				
実施年度	校・園舎	屋内運動場	計																																																							
H22～25	8箇所	14箇所	22箇所																																																							
H26～29	9箇所	12箇所	21箇所																																																							
計	17箇所	26箇所	43箇所																																																							
成果に係る評価	<p>学校施設は、児童生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場であり、地域住民にとっては学習・文化・スポーツなどに利用されている公共施設として、また、災害発生時の避難場所として重要な役割を担っており、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき、学校施設の耐震化を着実かつ計画的に整備し、児童生徒の安全を守り、良好な教育環境の確保を図るとともに地域住民の安全と安心を確保していく必要がある。</p> <p>本屋内運動場は、老朽化による機能低下が著しく、中学校体育施設として狭隘で設備面も不足しており、平成19年度に基本設計、平成20年度に耐力度調査及び実施設計、平成21～22年度に改築工事を実施する。</p>																																																									
予算の執行状況	（単位：円）																																																									
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																							
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																																				
100,905,058	100,905,058	100,831,000			74,058																																																					

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち																																																					
	3 項	中学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する																																																					
	3 目	学校建設費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる																																																					
小 事 業	荻浜中学校耐震補強事業費																																																									
事 業 名	荻浜中学校校舎地震補強事業																																																									
目的及び事業内容	<p>本校舎は、平成16年度に実施した耐震診断の結果、大規模な地震により倒壊又は崩壊する危険性が高いとされる I S 値0.3未満の施設であり、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき、「安全安心な学校づくり交付金」、平成20年6月に改正された「地震防災特別措置法」及び平成21年度に制定された「地域活性化・公共投資臨時交付金」の制度を適用し、平成20～21年度に実施した耐震補強設計を踏まえながら、平成21～22年度に耐震補強工事を実施する。</p> <p>また、建築非構造部材の天井材や照明器具の落下、ガラスの飛散等の防止対策（修繕工事）を実施する。</p>																																																									
取 組 実 績	<p>1 石巻市立学校施設耐震化整備計画の策定</p> <p>(1) 平成20年12月に市立学校施設（幼稚園含む）の耐震化について、全体の事業量を把握するとともに具体的な目標と期間を設定し、着実かつ計画的に推進することを目的として、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」を策定し、平成21年1月に市ホームページにて公表した。</p> <p>(2) 主な計画内容</p> <p>ア 耐震補強を要する47施設（20校舎・27屋内運動場）の耐震化について、平成20年度から平成29年度までの10年間で完了することを目標とする。</p> <p>イ 耐震化事業は、基本的に耐震性能の低い施設を優先し整備する。</p> <p>ウ 耐震化事業の手法は、建替方式ではなく、耐震補強工事を中心に進める。</p> <p>2 耐力度調査・耐震診断の実施</p> <p>本校舎は、平成16年度に耐震診断を実施し、その結果、大規模な地震で倒壊等の危険性が高いとされる I S 値0.3未満（診断結果： I S 値0.14）で、耐震補強を要する判定となった。</p> <p>3 耐震補強設計・耐震補強工事の実施</p> <p>平成20～21年度に耐震補強設計、平成21～22年度に耐震補強工事を実施する。</p>																																																									
成 果	<p>1 耐震化状況（平成22年3月31日現在）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="4">区分</th> <th rowspan="4">全施設</th> <th colspan="4">耐震診断対象施設</th> <th rowspan="4">耐震診断 対象外施設</th> </tr> <tr> <th colspan="2">耐震診断実施施設</th> <th rowspan="2">耐震診断 未実施施設</th> <th rowspan="2"></th> </tr> <tr> <th colspan="2">基準値以下</th> <th rowspan="2">基準値以上</th> </tr> <tr> <th>未改修施設</th> <th>改修済施設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>校・園舎</td> <td>71箇所</td> <td>17箇所</td> <td>8箇所</td> <td>17箇所</td> <td>0箇所</td> <td>29箇所</td> </tr> <tr> <td>屋内運動場</td> <td>65箇所</td> <td>26箇所</td> <td>6箇所</td> <td>6箇所</td> <td>0箇所</td> <td>27箇所</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>136箇所</td> <td>43箇所</td> <td>14箇所</td> <td>23箇所</td> <td>0箇所</td> <td>56箇所</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 事業実施計画（事業完了年度）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>実施年度</th> <th>校・園舎</th> <th>屋内運動場</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22～25</td> <td>8箇所</td> <td>14箇所</td> <td>22箇所</td> </tr> <tr> <td>H26～29</td> <td>9箇所</td> <td>12箇所</td> <td>21箇所</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>17箇所</td> <td>26箇所</td> <td>43箇所</td> </tr> </tbody> </table>					区分	全施設	耐震診断対象施設				耐震診断 対象外施設	耐震診断実施施設		耐震診断 未実施施設		基準値以下		基準値以上	未改修施設	改修済施設	校・園舎	71箇所	17箇所	8箇所	17箇所	0箇所	29箇所	屋内運動場	65箇所	26箇所	6箇所	6箇所	0箇所	27箇所	計	136箇所	43箇所	14箇所	23箇所	0箇所	56箇所	実施年度	校・園舎	屋内運動場	計	H22～25	8箇所	14箇所	22箇所	H26～29	9箇所	12箇所	21箇所	計	17箇所	26箇所	43箇所
区分	全施設	耐震診断対象施設						耐震診断 対象外施設																																																		
		耐震診断実施施設		耐震診断 未実施施設																																																						
		基準値以下							基準値以上																																																	
		未改修施設	改修済施設																																																							
校・園舎	71箇所	17箇所	8箇所	17箇所	0箇所	29箇所																																																				
屋内運動場	65箇所	26箇所	6箇所	6箇所	0箇所	27箇所																																																				
計	136箇所	43箇所	14箇所	23箇所	0箇所	56箇所																																																				
実施年度	校・園舎	屋内運動場	計																																																							
H22～25	8箇所	14箇所	22箇所																																																							
H26～29	9箇所	12箇所	21箇所																																																							
計	17箇所	26箇所	43箇所																																																							
成果に係る評価	<p>学校施設は、児童生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場であり、地域住民にとっては学習・文化・スポーツなどに利用されている公共施設として、また、災害発生時の避難場所として重要な役割を担っており、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき、学校施設の耐震化を着実かつ計画的に整備し、児童生徒の安全を守り、良好な教育環境の確保を図るとともに地域住民の安全と安心を確保していく必要がある。</p> <p>本校舎は、平成16年度に実施した耐震診断の結果、大規模な地震により倒壊又は崩壊する危険性が高いとされる I S 値0.3未満（診断結果： I S 値0.14）の施設であり、平成20年6月に改正された「地震防災特別措置法」（平成22年度までの時限立法）の制度を適用し、平成20～21年度に耐震補強設計、平成21～22年度に耐震補強工事を実施する。</p>																																																									
予算の執行状況	（単位：円）																																																									
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																							
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																																				
1,818,000	1,626,150				1,626,150																																																					

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する
	3 目	学校建設費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる

小 事 業	鮎川小学校屋内運動場耐震補強事業費
-------	-------------------

事 業 名	鮎川小学校屋内運動場地震補強事業
-------	------------------

目的及び事業内容	<p>本屋内運動場は、平成19年度に実施した耐震診断の結果、大規模な地震により倒壊又は崩壊する危険性が高いとされる I S 値0.3未満の施設であり、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき、「安全安心な学校づくり交付金」、平成20年6月に改正された「地震防災特別措置法」及び平成21年度に制定された「地域活性化・公共投資臨時交付金」の制度を適用し、平成20～21年度に実施した耐震補強設計を踏まえながら、平成21～22年度に耐震補強工事を実施する。</p> <p>また、建築非構造部材の天井材や照明器具の落下、ガラスの飛散等の防止対策（修繕工事）を実施する。</p>
----------	---

取 組 実 績	<p>1 石巻市立学校施設耐震化整備計画の策定</p> <p>(1) 平成20年12月に市立学校施設（幼稚園含む）の耐震化について、全体の事業量を把握するとともに具体的な目標と期間を設定し、着実かつ計画的に推進することを目的として、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」を策定し、平成21年1月に市ホームページにて公表した。</p> <p>(2) 主な計画内容</p> <p>ア 耐震補強を要する47施設（20校舎・27屋内運動場）の耐震化について、平成20年度から平成29年度までの10年間で完了することを目標とする。</p> <p>イ 耐震化事業は、基本的に耐震性能の低い施設を優先し整備する。</p> <p>ウ 耐震化事業の手法は、建替方式ではなく、耐震補強工事を中心に進める。</p> <p>2 耐力度調査・耐震診断の実施</p> <p>本屋内運動場は、平成19年度に耐震診断を実施し、その結果、大規模な地震で倒壊等の危険性が高いとされる I S 値0.3未満（診断結果： I S 値0.25）で、耐震補強を要する判定となった。</p> <p>3 耐震補強設計・耐震補強工事の実施</p> <p>平成20～21年度に耐震補強設計、平成21～22年度に耐震補強工事を実施する。</p>
---------	---

成 果	1 耐震化状況（平成22年3月31日現在）	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="4">区分</th> <th rowspan="4">全施設</th> <th colspan="4">耐震診断対象施設</th> <th rowspan="4">耐震診断 対象外施設</th> </tr> <tr> <th colspan="2">耐震診断実施施設</th> <th rowspan="2">耐震診断 未実施施設</th> <th rowspan="2"></th> </tr> <tr> <th>基準値以下</th> <th>基準値以上</th> <th></th> </tr> <tr> <th>未改修施設</th> <th>改修済施設</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>校・園舎</td> <td>71箇所</td> <td>17箇所</td> <td>8箇所</td> <td>17箇所</td> <td>0箇所</td> <td>29箇所</td> </tr> <tr> <td>屋内運動場</td> <td>65箇所</td> <td>26箇所</td> <td>6箇所</td> <td>6箇所</td> <td>0箇所</td> <td>27箇所</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>136箇所</td> <td>43箇所</td> <td>14箇所</td> <td>23箇所</td> <td>0箇所</td> <td>56箇所</td> </tr> </tbody> </table>						区分	全施設	耐震診断対象施設				耐震診断 対象外施設	耐震診断実施施設		耐震診断 未実施施設		基準値以下	基準値以上		未改修施設	改修済施設		校・園舎	71箇所	17箇所	8箇所	17箇所	0箇所	29箇所	屋内運動場	65箇所	26箇所	6箇所	6箇所	0箇所	27箇所	計	136箇所	43箇所	14箇所	23箇所	0箇所	56箇所
	区分	全施設	耐震診断対象施設				耐震診断 対象外施設																																						
			耐震診断実施施設		耐震診断 未実施施設																																								
基準値以下			基準値以上																																										
未改修施設			改修済施設																																										
校・園舎	71箇所	17箇所	8箇所	17箇所	0箇所	29箇所																																							
屋内運動場	65箇所	26箇所	6箇所	6箇所	0箇所	27箇所																																							
計	136箇所	43箇所	14箇所	23箇所	0箇所	56箇所																																							
2 事業実施計画（事業完了年度）	<table border="1"> <thead> <tr> <th>実施年度</th> <th>校・園舎</th> <th>屋内運動場</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22～25</td> <td>8箇所</td> <td>14箇所</td> <td>22箇所</td> </tr> <tr> <td>H26～29</td> <td>9箇所</td> <td>12箇所</td> <td>21箇所</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>17箇所</td> <td>26箇所</td> <td>43箇所</td> </tr> </tbody> </table>						実施年度	校・園舎	屋内運動場	計	H22～25	8箇所	14箇所	22箇所	H26～29	9箇所	12箇所	21箇所	計	17箇所	26箇所	43箇所																							
実施年度	校・園舎	屋内運動場	計																																										
H22～25	8箇所	14箇所	22箇所																																										
H26～29	9箇所	12箇所	21箇所																																										
計	17箇所	26箇所	43箇所																																										
成果に係る評価	<p>学校施設は、児童生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場であり、地域住民にとっては学習・文化・スポーツなどに利用されている公共施設として、また、災害発生時の避難場所として重要な役割を担っており、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき、学校施設の耐震化を着実かつ計画的に整備し、児童生徒の安全を守り、良好な教育環境の確保を図るとともに地域住民の安全と安心を確保していく必要がある。</p> <p>本屋内運動場は、平成19年度に実施した耐震診断の結果、大規模な地震により倒壊又は崩壊する危険性が高いとされる I S 値0.3未満（診断結果： I S 値0.25）の施設であり、平成20年6月に改正された「地震防災特別措置法」（平成22年度までの時限立法）の制度を適用し、平成20～21年度に耐震補強設計、平成21～22年度に耐震補強工事を実施する。</p>																																												

(単位：円)

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	1,217,000	997,850				997,850

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち																																																					
	3 項	中学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する																																																					
	3 目	学校建設費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる																																																					
小 事 業	飯野川中学校屋内運動場耐震補強事業費																																																									
事 業 名	飯野川中学校屋内運動場地震補強事業																																																									
目的及び事業内容	<p>本屋内運動場は、平成16年度に実施した耐震診断の結果、大規模な地震により倒壊又は崩壊する危険性が高いとされる I S 値0.3未満の施設であり、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき、「安全安心な学校づくり交付金」、平成20年6月に改正された「地震防災特別措置法」及び平成21年度に制定された「地域活性化・公共投資臨時交付金」の制度を適用し、平成20～21年度に実施した耐震補強設計を踏まえながら、平成21～22年度に耐震補強工事を実施する。</p> <p>また、建築非構造部材の天井材や照明器具の落下、ガラスの飛散等の防止対策（修繕工事）を実施する。</p>																																																									
取 組 実 績	<p>1 石巻市立学校施設耐震化整備計画の策定</p> <p>(1) 平成20年12月に市立学校施設（幼稚園含む）の耐震化について、全体の事業量を把握するとともに具体的な目標と期間を設定し、着実かつ計画的に推進することを目的として、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」を策定し、平成21年1月に市ホームページにて公表した。</p> <p>(2) 主な計画内容</p> <p>ア 耐震補強を要する47施設（20校舎・27屋内運動場）の耐震化について、平成20年度から平成29年度までの10年間で完了することを目標とする。</p> <p>イ 耐震化事業は、基本的に耐震性能の低い施設を優先し整備する。</p> <p>ウ 耐震化事業の手法は、建替方式ではなく、耐震補強工事を中心に進める。</p> <p>2 耐力度調査・耐震診断の実施</p> <p>本屋内運動場は、平成16年度に耐震診断を実施し、その結果、大規模な地震で倒壊等の危険性が高いとされる I S 値0.3未満（診断結果： I S 値0.15）で、耐震補強を要する判定となった。</p> <p>3 耐震補強設計・耐震補強工事の実施</p> <p>平成20～21年度に耐震補強設計、平成21～22年度に耐震補強工事を実施する。</p>																																																									
成 果	<p>1 耐震化状況（平成22年3月31日現在）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="4">区分</th> <th rowspan="4">全施設</th> <th colspan="4">耐震診断対象施設</th> <th rowspan="4">耐震診断 対象外施設</th> </tr> <tr> <th colspan="2">耐震診断実施施設</th> <th rowspan="3">耐震診断 未実施施設</th> <th rowspan="3"></th> </tr> <tr> <th colspan="2">基準値以下</th> <th rowspan="2">基準値以上</th> </tr> <tr> <th>未改修施設</th> <th>改修済施設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>校・園舎</td> <td>71箇所</td> <td>17箇所</td> <td>8箇所</td> <td>17箇所</td> <td>0箇所</td> <td>29箇所</td> </tr> <tr> <td>屋内運動場</td> <td>65箇所</td> <td>26箇所</td> <td>6箇所</td> <td>6箇所</td> <td>0箇所</td> <td>27箇所</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>136箇所</td> <td>43箇所</td> <td>14箇所</td> <td>23箇所</td> <td>0箇所</td> <td>56箇所</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 事業実施計画（事業完了年度）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>実施年度</th> <th>校・園舎</th> <th>屋内運動場</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22～25</td> <td>8箇所</td> <td>14箇所</td> <td>22箇所</td> </tr> <tr> <td>H26～29</td> <td>9箇所</td> <td>12箇所</td> <td>21箇所</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>17箇所</td> <td>26箇所</td> <td>43箇所</td> </tr> </tbody> </table>					区分	全施設	耐震診断対象施設				耐震診断 対象外施設	耐震診断実施施設		耐震診断 未実施施設		基準値以下		基準値以上	未改修施設	改修済施設	校・園舎	71箇所	17箇所	8箇所	17箇所	0箇所	29箇所	屋内運動場	65箇所	26箇所	6箇所	6箇所	0箇所	27箇所	計	136箇所	43箇所	14箇所	23箇所	0箇所	56箇所	実施年度	校・園舎	屋内運動場	計	H22～25	8箇所	14箇所	22箇所	H26～29	9箇所	12箇所	21箇所	計	17箇所	26箇所	43箇所
区分	全施設	耐震診断対象施設						耐震診断 対象外施設																																																		
		耐震診断実施施設		耐震診断 未実施施設																																																						
		基準値以下							基準値以上																																																	
		未改修施設	改修済施設																																																							
校・園舎	71箇所	17箇所	8箇所	17箇所	0箇所	29箇所																																																				
屋内運動場	65箇所	26箇所	6箇所	6箇所	0箇所	27箇所																																																				
計	136箇所	43箇所	14箇所	23箇所	0箇所	56箇所																																																				
実施年度	校・園舎	屋内運動場	計																																																							
H22～25	8箇所	14箇所	22箇所																																																							
H26～29	9箇所	12箇所	21箇所																																																							
計	17箇所	26箇所	43箇所																																																							
成果に係る評価	<p>学校施設は、児童生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場であり、地域住民にとっては学習・文化・スポーツなどに利用されている公共施設として、また、災害発生時の避難場所として重要な役割を担っており、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき、学校施設の耐震化を着実かつ計画的に整備し、児童生徒の安全を守り、良好な教育環境の確保を図るとともに地域住民の安全と安心を確保していく必要がある。</p> <p>本屋内運動場は、平成16年度に実施した耐震診断の結果、大規模な地震により倒壊又は崩壊する危険性が高いとされる I S 値0.3未満（診断結果： I S 値0.15）の施設であり、平成20年6月に改正された「地震防災特別措置法」（平成22年度までの時限立法）の制度を適用し、平成20～21年度に耐震補強設計、平成21～22年度に耐震補強工事を実施する。</p>																																																									
予算の執行状況	（単位：円）																																																									
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																							
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																																				
2,022,000	1,816,500				1,816,500																																																					

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち										
	4 項	高等学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する										
	1 目	学校管理費		( 2 )	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ										
小 事 業	高等学校保健費														
事 業 名	学校医・薬剤師配置事業（高等学校）														
目的及び事業内容	各学校に学校医等を配置し定期健診、健康相談及び衛生点検等を実施することにより、生徒に係る疾病の早期発見に努めるとともに予防指導の強化を図る。 ・学校医の配置 ・学校薬剤師の配置														
取 組 実 績	<p>1 学校医の配置 市立高等学校2校に、学校医を委嘱（内科、眼科、耳鼻科、歯科）し、定期健康診断や教育相談などの健診業務を実施</p> <p>・委嘱した学校医の人数</p> <table border="1"> <tr> <td>内 科 医</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>眼 科 医</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>耳 鼻 科 医</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>歯 科 医</td> <td>4人</td> </tr> </table> <p>2 学校薬剤師の配置 市立高等学校2校に、学校薬剤師を委嘱し、飲料水及びプール水質の検査、教室の明るさ、空気の汚れ具合などの検査を実施</p> <p>・委嘱した学校薬剤師の人数</p> <table border="1"> <tr> <td>薬 剤 師</td> <td>2人</td> </tr> </table>					内 科 医	3人	眼 科 医	2人	耳 鼻 科 医	2人	歯 科 医	4人	薬 剤 師	2人
内 科 医	3人														
眼 科 医	2人														
耳 鼻 科 医	2人														
歯 科 医	4人														
薬 剤 師	2人														
成 果	<p>1 定期健康診断等の結果に基づき、保護者、学校に対して的確な指導と助言が行われ、生徒の健全育成や健康の保持増進が図られた。</p> <p>2 学校施設における日常点検や定期検査の実施等により、学校内の環境衛生の実態を把握し、基準に示された学校環境の維持や、必要に応じた対策を講じることができた。</p>														
成果に係る評価	生徒に対して的確な予防指導を行っていくうえで重要な事業であり、今後も続けていく必要がある。ただ、眼科、耳鼻科などの医師不足が深刻化しており、一人の医師が複数の学校医を兼務している実態もあることから、市立病院とも連携を図るなど、学校への医師派遣事業を継続する必要がある。														
予算の執行状況	（単位：円）														
	予算額	決算額	決算額の財源内訳												
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源									
2,601,000	2,447,800				2,447,800										

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	
	4 項	高等学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する	
	1 目	学校管理費		( 2 )	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ	
小 事 業		高等学校保健費				
事 業 名		健康診断・検査等実施事業（高等学校）				
目的及び事業内容		<p>定期的な健康診断や各種検査を行うことにより、生徒の健康の保持増進を図り、病気等の早期発見に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期健康診断の実施</li> <li>・飲料水水質検査の実施</li> </ul>				
取 組 実 績		<p>1 生徒の健康診断検査項目 内科健診、眼科健診、耳鼻科健診、歯科検診、結核健診、心臓病検診、尿検査 定期健康診断については、市内高等学校全学年、心臓病健診については、対象学年である1年生に実施した。</p> <p>2 飲料水水質検査項目 遊離残留塩素、色度・濁度・臭気・味、水素イオン濃度、一般細菌、大腸菌、塩化物イオン、全有機炭素、鉄 高等学校各校の上水道を飲料水とするため、年1回残留塩素及び大腸菌などの水質検査を行った。</p>				
成 果		<p>定期健康診断を行い、生徒の病気の早期発見、早期治療、生活習慣の改善を促し、生徒の健康管理に努めた。 また、学校の水道を飲料水としていることから、水質検査を行うことで、安全な環境の維持を図った。</p> <p>1 定期健康診断      高校生 980人 心臓病検診          1年生 312人</p> <p>2 飲料水水質検査      高等学校 2校</p>				
成果に係る評価		<p>生徒の健康を保持・増進していくためには不可欠な事業であり、今後も続けていく必要がある。 近年、生活習慣や食生活の乱れなどの理由により、肥満や生活習慣病といった病気の低年齢化が進み、社会的な問題となっていることから、今後は定期健診や各種検査のあり方について、検討していく必要がある。</p>				
(単位：円)						
予算の執行状況	予算額		決算額の財源内訳			
	決算額		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	1,653,000	1,431,635				1,431,635

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち						
	4 項	高等学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する						
	2 目	教育振興費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる						
小 事 業	高等学校教育用コンピューター関係費										
事 業 名	情報教育環境整備事業（高等学校）										
目的及び事業内容	国際化、高度情報化、技術革新等社会情勢の変化に対応した情報教育環境を計画的に整備する。 市内高等学校の教育用コンピューター及び周辺機器の更新及び賃貸借（購入又はリース）										
取 組 実 績	<p>高等学校教育用コンピューター整備状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>整備年度</th> <th>整備内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H17</td> <td>石巻市立女子高等学校：PC教室及び普通教室に計58台整備</td> </tr> <tr> <td>H19</td> <td>石巻市立女子商業高等学校：PC教室及び普通教室に計147台整備</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 平成20～21年度については、以前に更新したリース料金等の支払いのみ</p>					整備年度	整備内容	H17	石巻市立女子高等学校：PC教室及び普通教室に計58台整備	H19	石巻市立女子商業高等学校：PC教室及び普通教室に計147台整備
整備年度	整備内容										
H17	石巻市立女子高等学校：PC教室及び普通教室に計58台整備										
H19	石巻市立女子商業高等学校：PC教室及び普通教室に計147台整備										
成 果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒がITの活用方法に慣れ親しみ、習熟して、主体的に活用できるよう情報活用能力の育成が図られた。</li> <li>・情報社会に参画する態度が育成され、情報モラル教育の推進が図られた。</li> <li>・各教科等においてデジタルコンテンツを活用し、分かりやすい授業を実現できた。</li> </ul>										
成果に係る評価	<p>小中学校に先立ち、専門課程対応を含め情報教育環境の整備充実に努めてきた。 市内高等学校の教育用コンピューターについては、文部科学省の整備基準（生徒3.6人に1台、普通教室・特別教室に校内LANの設置）を定めているが、各市立高等学校の特色を活かしながら整備を図る。 機器整備後の維持補修負荷が増大しており、今後の管理方法等を検討し、事務効率の向上を図りたい。</p>										
予算の執行状況	（単位：円）										
	予算額	決算額	決算額の財源内訳								
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源					
7,507,000	7,450,695				7,450,695						

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち										
	5 項	幼稚園費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する										
	1 目	幼稚園費		( 2 )	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ										
小 事 業		幼稚園保健費													
事 業 名		学校医・薬剤師配置事業（幼稚園）													
目的及び事業内容		各幼稚園に学校医等を配置し定期健診、健康相談及び衛生点検等を実施することにより、幼児に係る疾病の早期発見に努めるとともに予防指導の強化を図る。 ・学校医の配置 ・学校薬剤師の配置													
取 組 実 績		<p>1 学校医の配置 市立幼稚園5園に、園医を委嘱（内科、眼科、耳鼻科、歯科）し、定期健康診断や教育相談などの健診業務を実施</p> <p>・委嘱した学校医の人数</p> <table border="1"> <tr> <td>内 科 医</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>眼 科 医</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>耳 鼻 科 医</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>歯 科 医</td> <td>4人</td> </tr> </table> <p>2 学校薬剤師の配置 市立幼稚園5園に、薬剤師を委嘱し、飲料水の検査、教室の明るさ、空気の汚れ具合などの検査を実施</p> <p>・委嘱した学校薬剤師の人数</p> <table border="1"> <tr> <td>薬 剤 師</td> <td>2人</td> </tr> </table>				内 科 医	3人	眼 科 医	2人	耳 鼻 科 医	2人	歯 科 医	4人	薬 剤 師	2人
内 科 医	3人														
眼 科 医	2人														
耳 鼻 科 医	2人														
歯 科 医	4人														
薬 剤 師	2人														
成 果		<p>1 定期健康診断等の結果に基づき、保護者、幼稚園に対して的確な指導と助言が行われ、幼児の健全育成や健康の保持増進が図られた。</p> <p>2 幼稚園施設における日常点検や定期検査の実施等により、幼稚園内の環境衛生の実態を把握し、基準に示された施設内環境の維持や、必要に応じた対策を講じることができた。</p>													
成果に係る評価		幼児に対して的確な予防指導を行っていくうえで重要な事業であり、今後も続けていく必要がある。ただ、眼科、耳鼻科などの医師不足が深刻化しており、一人の医師が複数の学校医を兼務している実態もあることから、市立病院とも連携を図るなどを行ない、学校への医師派遣事業を継続する必要がある。													
（単位：円）															
予算の執行状況	予算額		決算額の財源内訳												
	決算額		国（県）支出金	地方債	その他	一般財源									
	2,672,000	2,629,516				2,629,516									

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	
	5 項	幼稚園費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する	
	1 目	幼稚園費		( 2 )	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ	
小 事 業		幼稚園保健費				
事 業 名		健康診断・検査等実施事業（幼稚園）				
目的及び事業内容		<p>定期的な健康診断や各種検査を行うことにより、幼児の健康の保持増進を図り、病気等の早期発見に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期健康診断の実施</li> <li>・飲料水水質検査の実施</li> </ul>				
取 組 実 績		<p>1 幼児の健康診断検査項目 内科健診、眼科健診、耳鼻科健診、歯科健診、結核健診、尿検査、寄生虫卵検査 定期健康診断及び各種検査については、市内幼稚園園児全員を対象に実施した。</p> <p>2 飲料水水質検査項目 遊離残留塩素、色度・濁度・臭気・味、水素イオン濃度、一般細菌、大腸菌、塩化物イオン、全有機炭素、鉄 幼稚園各園の上水道を飲料水とするため、年 1 回残留塩素及び大腸菌などの水質検査を行った。</p>				
成 果		<p>定期健康診断を行い、幼児の病気の早期発見、早期治療、生活習慣の改善を促し、幼児の健康管理に努めた。また、幼稚園の水道を飲料水としていることから、水質検査を行うことで、安全な環境の維持を図った。</p> <p>1 定期健康診断                      幼稚園児 312人 2 飲料水水質検査                      幼稚園 5校</p>				
成果に係る評価		<p>幼児の健康を保持・増進していくためには不可欠な事業であり、今後も続けていく必要がある。近年、生活習慣や食生活の乱れなどの理由により、肥満や生活習慣病といった病気の低年齢化が進み、社会的な問題となっていることから、今後は定期健診や各種検査のあり方について、検討していく必要がある。</p>				
（単位：円）						
予算の執行状況	予算額		決算額の財源内訳			
	決算額		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	391,000	295,509				295,509

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち																								
	5 項	幼稚園費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する																								
	1 目	幼稚園費		( 2 )	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ																								
小 事 業	私立幼稚園運営費助成費																												
事 業 名	私立幼稚園支援事業（運営費助成）																												
目的及び事業内容	市内で開園している私立幼稚園の設置者に対し、運営費の一部を助成することにより、義務教育就学前の幼児教育振興に寄与している私立幼稚園の健全な経営及び保護者の負担の軽減を図る。 ・私立幼稚園運営費の助成																												
取 組 実 績	市内で開園している私立幼稚園設置者に対し、運営費の一部の助成を行なった。																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>運営費補助金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日和幼稚園</td> <td>780,400円</td> </tr> <tr> <td>穀町幼稚園</td> <td>808,000円</td> </tr> <tr> <td>法山寺幼稚園</td> <td>691,600円</td> </tr> <tr> <td>石巻カトリック幼稚園</td> <td>816,400円</td> </tr> <tr> <td>石巻みずほ幼稚園</td> <td>874,000円</td> </tr> <tr> <td>石巻みずほ第二幼稚園</td> <td>712,000円</td> </tr> <tr> <td>ひばり幼稚園</td> <td>1,192,000円</td> </tr> <tr> <td>栄光幼稚園</td> <td>396,400円</td> </tr> <tr> <td>長浜幼稚園</td> <td>658,000円</td> </tr> <tr> <td>万石浦幼稚園</td> <td>564,400円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>7,493,200円</td> </tr> </tbody> </table>					区分	運営費補助金	日和幼稚園	780,400円	穀町幼稚園	808,000円	法山寺幼稚園	691,600円	石巻カトリック幼稚園	816,400円	石巻みずほ幼稚園	874,000円	石巻みずほ第二幼稚園	712,000円	ひばり幼稚園	1,192,000円	栄光幼稚園	396,400円	長浜幼稚園	658,000円	万石浦幼稚園	564,400円	合 計	7,493,200円
区分	運営費補助金																												
日和幼稚園	780,400円																												
穀町幼稚園	808,000円																												
法山寺幼稚園	691,600円																												
石巻カトリック幼稚園	816,400円																												
石巻みずほ幼稚園	874,000円																												
石巻みずほ第二幼稚園	712,000円																												
ひばり幼稚園	1,192,000円																												
栄光幼稚園	396,400円																												
長浜幼稚園	658,000円																												
万石浦幼稚園	564,400円																												
合 計	7,493,200円																												
成 果	義務教育就学前の幼児教育を担う私立幼稚園の健全な運営及び保護者の負担軽減に資することができた。 (助成内訳) 運営費補助金																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>運営費補助金</th> <th>灯油購入費助成金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H19</td> <td>7,793,200円</td> <td>974,100円</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>7,814,800円</td> <td>974,100円</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>7,493,200円</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>					区分	運営費補助金	灯油購入費助成金	H19	7,793,200円	974,100円	H20	7,814,800円	974,100円	H21	7,493,200円	—												
区分	運営費補助金	灯油購入費助成金																											
H19	7,793,200円	974,100円																											
H20	7,814,800円	974,100円																											
H21	7,493,200円	—																											
成果に係る評価	本市幼児教育の推進を図ることを目的とした事業であり、私立幼稚園の活動内容や運営の実情に即した支援に努めていかなければならない。																												
(単位：円)																													
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																										
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																							
	7,494,000	7,493,200				7,493,200																							

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち																		
	5 項	幼稚園費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する																		
	1 目	幼稚園費		( 2 )	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ																		
小 事 業	私立幼稚園就園奨励費																						
事 業 名	私立幼稚園支援事業（就園奨励費）																						
目的及び事業内容	<p>私立幼稚園に就園する満3歳児、3歳児、4歳児及び5歳児の保護者の中で、所得が低い保護者に対して私立幼稚園が行う入園料、保育料の減免措置に対して助成を行うことにより、義務教育就学前における幼児教育の振興を図る。</p> <p>・私立幼稚園就園奨励費の助成</p>																						
取 組 実 績	<p>市内に居住している園児の入園料・保育料の減免措置を行っている私立幼稚園に対し、一部国の補助を受け補助金を交付した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>対象人数</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>満3歳児</td> <td>17人</td> <td>1,405,500円</td> </tr> <tr> <td>3歳児</td> <td>216人</td> <td>20,055,400円</td> </tr> <tr> <td>4歳児</td> <td>473人</td> <td>40,570,900円</td> </tr> <tr> <td>5歳児</td> <td>512人</td> <td>42,159,300円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,218人</td> <td>104,191,100円</td> </tr> </tbody> </table>					区分	対象人数	補助金額	満3歳児	17人	1,405,500円	3歳児	216人	20,055,400円	4歳児	473人	40,570,900円	5歳児	512人	42,159,300円	合計	1,218人	104,191,100円
区分	対象人数	補助金額																					
満3歳児	17人	1,405,500円																					
3歳児	216人	20,055,400円																					
4歳児	473人	40,570,900円																					
5歳児	512人	42,159,300円																					
合計	1,218人	104,191,100円																					
成 果	<p>私立幼稚園が行う、所得が低い入園児の保護者に対する入園料、保育料の減免措置に対して助成することにより、就園する保護者の経済的負担を軽減し、義務教育就学前における幼児教育の振興に資することができた。</p> <p>(補助内訳)</p> <p>就園奨励費補助金</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>対象人数</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H19</td> <td>1,398人</td> <td>111,819,500円</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>1,314人</td> <td>108,300,900円</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>1,218人</td> <td>104,191,100円</td> </tr> </tbody> </table>					区分	対象人数	補助金額	H19	1,398人	111,819,500円	H20	1,314人	108,300,900円	H21	1,218人	104,191,100円						
区分	対象人数	補助金額																					
H19	1,398人	111,819,500円																					
H20	1,314人	108,300,900円																					
H21	1,218人	104,191,100円																					
成果に係る評価	本市幼児教育の普及充実と保護者の経済的負担を軽減することを目的とした事業であり、私立幼稚園の実情に即した支援に努めていかなければならない。																						
(単位：円)																							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																	
	104,192,000	104,191,100	26,872,000			77,319,100																	

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち
	6 項	社会教育費		第 4 節	市民が個性を活かして輝ける機会をつくる
	1 目	社会教育総務費		( 1 )	市民の主体的な学習活動を支援する
小 事 業	社会教育事務費				
事 業 名	青年文化祭支援事業				
目的及び事業内容	<p>地域青年が文化芸術活動の発表する機会を設けることで、青年活動の活性化を図り、また地域住民との交流を通して、健全で豊かな地域社会を創造することを目的とする。</p> <p>石巻地区2市1町の青年団体や青年及び担当職員により、実行委員会を組織し、企画からPR、作品作成・展示等を含めすべて手作りで青年文化祭の事業を実施する。</p>				
取 組 実 績	<p>平成21年度は、12月6日（日）に女川町生涯教育センターを会場に、石巻地区青年文化祭「石青祭」～ごさいん×2 みんなで楽しむべっちゃ～というタイトルのもとに、石巻地区の伝統文化にスポットを当て、次世代につなげるきっかけをつくり、豊かな地域づくりに貢献しようという思いで文化祭をつくりあげた。</p> <p>当日はスタッフ・出演者・参加者合わせて469人が参加し、石巻市からは実行委員13人（一般青年）が参加し、文化祭当日まで仕事の合間を縫い、実行委員会を14回開催した。</p> <p>開催事務局及び開催地は2市1町の輪番制となっており、平成22年度は本市が会場となり11月28日（日）河北総合センターを会場に開催予定である。</p>				
成 果	<p>青年活動を支援する事業は数少なく、その意味からも本事業の担う役割は大変大きい。実行委員も継続して携わる者が多く、事業内容も着実に進化し、青年活動の活性化を図ることができた。その反面、新たに参画する実行委員が少ないため、人材の発掘が重要である。</p> <p>また、実行委員を更に活躍させるため、成人式へのボランティアスタッフとして活躍してもらうなど活動の幅を広げる工夫もしている。今後については本事業以外の活動の場を設けるにあたり、実行委員を核とした青年サークルの設立を目指しており、サークルによる活動で地域に貢献していきたいと考えている。</p>				
成果に係る評価	<p>宮城県教育委員会主催事業なので方向性の検討の余地はないが、青年が組織する、商工会議所や青年会議所、法人会、NPO等の組織に委託したり、支援する方向で検討すべきである。また、今後の青年文化祭の在り方について県の考え方を聞きながら青年がこれまで以上に意欲的に取り組むことができる新たな事業等についても2市1町で県に相談していく必要がある。</p> <p>また、実行委員を核とした青年サークルの設立を目指す動きがあるので、支援していきたい。</p>				
(単位：円)					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳		
			国(県)支出金	地方債	その他
	75,000	74,652			

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち																																																																											
	6 項	社会教育費		第 2 節	地域全体で子どもたちを育成する																																																																											
	1 目	社会教育総務費		( 2 )	青少年を健全に育成する																																																																											
小 事 業	少年指導者育成費																																																																															
事 業 名	少年指導者育成事業																																																																															
目的及び事業内容	<p>子ども会活動等地域における望ましい体験活動の指導・支援を行う青年ボランティアとしてのジュニア・リーダー及びインリーダーの育成を通して、青少年の健全育成を図る。</p> <p>宮城県教育委員会が定める「ジュニア・リーダー初級研修内容」に準拠した研修会を開催し、ジュニア・リーダー（中学生）を養成する。受講修了者には宮城県教育委員会が発行するジュニア・リーダー手帳及び初級研修修了証を授与する。</p>																																																																															
取 組 実 績	<p>1 ジュニア・リーダー育成のための研修会の実施、支援</p> <p>(1) ジュニア・リーダー初級研修会の主催</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>事業名</th> <th>開催日</th> <th>実施場所</th> <th>修了者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>初級研修会Ⅰ</td> <td>7月23日(木)～25日(土)</td> <td>網地島 島の楽校</td> <td>28人</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>初級研修会Ⅱ</td> <td>7月31日(金)～8月2日(日)</td> <td>網地島 島の楽校</td> <td>4人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) ジュニア・リーダー中級研修会及び上級研修会への参加支援</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>事業名</th> <th>開催日</th> <th>実施場所</th> <th>修了者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>中級研修会</td> <td>8月18日(火)～19日(水)</td> <td>県松島自然の家</td> <td>26人</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>上級研修会</td> <td>12月25日(金)～27日(日)</td> <td>県志津川自然の家</td> <td>5人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) ジュニア・リーダーのスキルアップのための研修事業参加支援及び研修機会の創出</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>事業名</th> <th>開催日</th> <th>実施場所</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第1回代表者会議</td> <td>5月31日(日)</td> <td>県青年会館</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>技術研修会(中学生)</td> <td>7月5日(日)</td> <td>県青年会館</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>東北子ども会JL大会</td> <td>8月16日(日)～18日(火)</td> <td>福島県</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>みやぎのJL大会</td> <td>8月21日(金)～22日(土)</td> <td>県志津川自然の家</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>技術研修会(高校生)</td> <td>10月11日(日)</td> <td>県青年会館</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>石巻地区交流会</td> <td>1月31日(日)</td> <td>石巻中央公民館</td> <td>34人</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>第2回代表者会議</td> <td>11月29日(日)</td> <td>県青年会館</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>技術研修会</td> <td>1月31日(日)</td> <td>石巻中央公民館</td> <td>16人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 ジュニア・リーダーのボランティア活動支援</p> <p>市内子ども会育成会等から要請を受けボランティアとして派遣、子どもたちの指導等を行った。</p> <p>団体による申請数：61回 派遣したジュニア・リーダー数(延べ)：336人 会員数：126人</p>					No.	事業名	開催日	実施場所	修了者	1	初級研修会Ⅰ	7月23日(木)～25日(土)	網地島 島の楽校	28人	2	初級研修会Ⅱ	7月31日(金)～8月2日(日)	網地島 島の楽校	4人	No.	事業名	開催日	実施場所	修了者	1	中級研修会	8月18日(火)～19日(水)	県松島自然の家	26人	2	上級研修会	12月25日(金)～27日(日)	県志津川自然の家	5人	No.	事業名	開催日	実施場所	参加者	1	第1回代表者会議	5月31日(日)	県青年会館	3人	2	技術研修会(中学生)	7月5日(日)	県青年会館	12人	3	東北子ども会JL大会	8月16日(日)～18日(火)	福島県	2人	4	みやぎのJL大会	8月21日(金)～22日(土)	県志津川自然の家	4人	5	技術研修会(高校生)	10月11日(日)	県青年会館	5人	6	石巻地区交流会	1月31日(日)	石巻中央公民館	34人	7	第2回代表者会議	11月29日(日)	県青年会館	2人	8	技術研修会	1月31日(日)	石巻中央公民館	16人
No.	事業名	開催日	実施場所	修了者																																																																												
1	初級研修会Ⅰ	7月23日(木)～25日(土)	網地島 島の楽校	28人																																																																												
2	初級研修会Ⅱ	7月31日(金)～8月2日(日)	網地島 島の楽校	4人																																																																												
No.	事業名	開催日	実施場所	修了者																																																																												
1	中級研修会	8月18日(火)～19日(水)	県松島自然の家	26人																																																																												
2	上級研修会	12月25日(金)～27日(日)	県志津川自然の家	5人																																																																												
No.	事業名	開催日	実施場所	参加者																																																																												
1	第1回代表者会議	5月31日(日)	県青年会館	3人																																																																												
2	技術研修会(中学生)	7月5日(日)	県青年会館	12人																																																																												
3	東北子ども会JL大会	8月16日(日)～18日(火)	福島県	2人																																																																												
4	みやぎのJL大会	8月21日(金)～22日(土)	県志津川自然の家	4人																																																																												
5	技術研修会(高校生)	10月11日(日)	県青年会館	5人																																																																												
6	石巻地区交流会	1月31日(日)	石巻中央公民館	34人																																																																												
7	第2回代表者会議	11月29日(日)	県青年会館	2人																																																																												
8	技術研修会	1月31日(日)	石巻中央公民館	16人																																																																												
成 果	<p>ジュニア・リーダーの育成、スキルアップ、活動支援を行うことにより、子ども会育成会等の要請に応じたボランティア活動の充実が図られ、子ども会活動の活性化及び充実・改善を支援し、健全育成に資することができた。</p>																																																																															
成果に係る評価	<p>地域の子ども会活動の支援等のボランティア活動を行う中・高校生のリーダーを育成することにより、子ども会活動等における子どもたちの望ましい活動(遊び等)の充実・活性化を図り、もって青少年の健全育成に資することができる事業である。</p> <p>今後、少年指導者育成事業の質を高め、研修の成果が地域における子ども会活動の活性化に生かされるよう受講者へのはたらきかけの充実及び各地域におけるジュニア・リーダーサークル活動のPR・充実・活性化を図る。</p> <p>さらに、子ども会、地域の関係団体等へのはたらきかけにより、ジュニア・リーダーを生かした活動の充実・改善を推進する。</p>																																																																															
予算の執行状況	(単位：円)																																																																															
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																													
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																										
828,970	737,488				737,488																																																																											

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち																																										
	6 項	社会教育費		第 4 節	市民が個性を活かして輝ける機会をつくる																																										
	1 目	社会教育総務費		( 1 )	市民の主体的な学習活動を支援する																																										
小 事 業	視聴覚教材センター運営費																																														
事 業 名	視聴覚教材センター運営（負担金）事業																																														
目的及び事業内容	社会教育・学校教育関係者に対し、視聴覚教育メディアの利用促進を促すための研修を実施するとともに、石巻圏域住民に対し教育メディアを活用した学習機会を提供するため、各種講座の開催や視聴覚教材・機材の充実を図る。																																														
取 組 実 績	<table border="0"> <tr> <td>1 視聴覚教材センター運営委員会</td> <td>3回実施</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2 視聴覚教材利用状況</td> <td>小学校・中学校・社会教育</td> <td>合計</td> <td></td> <td>1,314件</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>うち石巻分</td> <td></td> <td>1,020件</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>石巻市利用割合</td> <td></td> <td>77.63%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3 視聴覚機材利用状況</td> <td>小学校・中学校・高校・大学・社会教育</td> <td>合計</td> <td></td> <td>387件</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>うち石巻分</td> <td></td> <td>327件</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>石巻市利用割合</td> <td></td> <td>84.50%</td> <td></td> </tr> </table>					1 視聴覚教材センター運営委員会	3回実施					2 視聴覚教材利用状況	小学校・中学校・社会教育	合計		1,314件				うち石巻分		1,020件				石巻市利用割合		77.63%		3 視聴覚機材利用状況	小学校・中学校・高校・大学・社会教育	合計		387件				うち石巻分		327件				石巻市利用割合		84.50%	
1 視聴覚教材センター運営委員会	3回実施																																														
2 視聴覚教材利用状況	小学校・中学校・社会教育	合計		1,314件																																											
		うち石巻分		1,020件																																											
		石巻市利用割合		77.63%																																											
3 視聴覚機材利用状況	小学校・中学校・高校・大学・社会教育	合計		387件																																											
		うち石巻分		327件																																											
		石巻市利用割合		84.50%																																											
成 果	<p>1 視聴覚教材センター運営委員会へ参加し、市民にとって利用しやすいセンターの構築に努めた。</p> <p>2 視聴覚教材については、新規の購入ソフトを16ミリフィルムからDVDへと転換し、利用しやすい環境の整備を図った。</p> <p>3 各種研修会は、近年の市民ニーズをとらえたものを実施し、市民の情報メディアに対するスキルアップを図った。</p>																																														
成果に係る評価	合併による石巻地区広域行政事務組合の構成市町の変化や情報化社会の進展に伴う圏域住民ニーズの変遷から、事業運営の効率化が求められており、このことから、一部事務組合の「共同処理」する事務の見直しを含め、当該事業の運営形態について、検討を進めてきた。その結果、平成22年4月から石巻市視聴覚センターとして事業を開始した。																																														
（単位：円）																																															
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																												
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																									
	17,419,077	17,419,077				17,419,077																																									

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち																											
	6 項	社会教育費		第 3 節	新たな時代を創造する人材を育成する																											
	1 目	社会教育総務費		( 2 )	創造力を育てる多様な環境をつくる																											
小 事 業	協働教育推進事業費																															
事 業 名	協働教育推進事業																															
目的及び事業内容	地域社会と学校教育が協働の仕組みを支える協議会を設置し、地域の特性を活かした教育活動を実施し、子どもたちの「生きる力」を醸成する。 また、石巻の自然・文化等の素材を資源として経済的視点で体験し、地域の自然や伝統文化などの学習機会を創出する。																															
取 組 実 績	<p>1 コラボスクール推進事業（市内小学校区9推進協議会へ委託）</p> <p>石巻市協働教育支援会議2回開催、協働教育フォーラム3回開催</p> <table border="1"> <tr> <td>開北小学校区</td> <td>コラボスクール推進協議会年2回開催</td> <td>12事業実施</td> </tr> <tr> <td>渡波小学校区</td> <td>年3回開催</td> <td>15事業実施</td> </tr> <tr> <td>北村小学校区</td> <td>年3回開催</td> <td>9事業実施</td> </tr> <tr> <td>相川小学校区</td> <td>年3回開催</td> <td>18事業実施</td> </tr> <tr> <td>桃生小学校区</td> <td>年3回開催</td> <td>10事業実施</td> </tr> <tr> <td>稲井小学校区</td> <td>年2回開催</td> <td>8事業実施</td> </tr> <tr> <td>大谷地小学校区</td> <td>年3回開催</td> <td>7事業実施</td> </tr> <tr> <td>谷川小学校区</td> <td>年3回開催</td> <td>7事業実施</td> </tr> <tr> <td>中津山第二小学校区</td> <td>年2回開催</td> <td>10事業実施</td> </tr> </table> <p>2 ふるさと子どもカレッジ事業</p> <p>参加者 石巻市内小学校5・6年生52人 （石巻地区36人、河北地区6人、河南地区7人、桃生地区3人）</p> <p>9事業実施 延べ参加者数 351人</p>					開北小学校区	コラボスクール推進協議会年2回開催	12事業実施	渡波小学校区	年3回開催	15事業実施	北村小学校区	年3回開催	9事業実施	相川小学校区	年3回開催	18事業実施	桃生小学校区	年3回開催	10事業実施	稲井小学校区	年2回開催	8事業実施	大谷地小学校区	年3回開催	7事業実施	谷川小学校区	年3回開催	7事業実施	中津山第二小学校区	年2回開催	10事業実施
開北小学校区	コラボスクール推進協議会年2回開催	12事業実施																														
渡波小学校区	年3回開催	15事業実施																														
北村小学校区	年3回開催	9事業実施																														
相川小学校区	年3回開催	18事業実施																														
桃生小学校区	年3回開催	10事業実施																														
稲井小学校区	年2回開催	8事業実施																														
大谷地小学校区	年3回開催	7事業実施																														
谷川小学校区	年3回開催	7事業実施																														
中津山第二小学校区	年2回開催	10事業実施																														
成 果	<p>1 コラボスクール推進事業</p> <p>支援会議における報告や意見交換、モデル校訪問は、それぞれの各小学校区のコラボスクール推進事業を改善・充実させ推進する上で有効な情報提供の機会となっていた。本事業を新聞掲載や広報誌等で広く情報提供することができ、市民レベルでの協働教育推進機運の醸成を引き出すことができた。平成21年度より実施校数を5校増やし9校の実施とした。</p> <p>2 ふるさと子どもカレッジ事業</p> <p>第1次産業から第3次産業まで幅広く活動の機会を設けたことで、参加者は郷土を見直す良いきっかけとなった。体験を前面に打ち出すことで、現場での活きた経験を積むことが可能となった。参加者の送迎については市有バスを使用したところ、参加者数が52人と急激に増えた。</p>																															
成果に係る評価	<p>社会の変化に対応すべき、国が示す今後の教育施策においては、「学校、家庭及び地域住民等の相互の連携協力」と「キャリア教育」の推進が重要な課題となって打ち出されている。これを根拠とする本事業は、今後、ますますその重要性を増すものであると考える。本事業を構成する「協働教育支援会議」、「研修事業（年3回）」、「協働教育コーディネーター委嘱事業」、「コラボスクール委託事業」、「ふるさと子どもカレッジ事業」については、ボランティアの協力等に支えられながら、最大限のコストパフォーマンスが発揮されるよう努力している。</p>																															
（単位：円）																																
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																													
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																										
	1,194,023	1,155,089				1,155,089																										

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち																																																																												
	6 項	社会教育費		第 3 節	地域に対する愛着や誇りをはぐくむ																																																																												
	1 目	社会教育総務費		( 1 )	多様な文化芸術活動の広がりと交流を推進する																																																																												
小 事 業	芸術文化振興費																																																																																
事 業 名	市美術展実施事業																																																																																
目的及び事業内容	美術を通して、石巻市における芸術文化の向上と市民の教養を高め文化振興を図る。																																																																																
取 組 実 績	1 開催日 平成21年10月4日（日）～10月12日（月） 2 場所 石巻文化センター 3 主催 石巻市・石巻市教育委員会・財団法人石巻市文化スポーツ振興公社 4 主管 石巻市美術展実行委員会 5 後援 宮城県・宮城県教育委員会・石巻商工会議所・河北新報社・石巻日日新聞社・三陸河北新報社・NHK仙台放送局・TBC東北放送・ミヤギテレビ・仙台放送・KHB東日本放送・ラジオ石巻・石巻市文化協会 6 協賛 石巻金融団・石巻青年会議所・石巻ライオンズクラブ・石巻中央ライオンズクラブ・石巻日和ライオンズクラブ・石巻東ライオンズクラブ・石巻ロータリークラブ・石巻西ロータリークラブ・石巻南ロータリークラブ・石巻東ロータリークラブ・国際ソロプチミスト石巻・国際ソロプチミスト石巻サンファン 7 授賞式 平成21年10月4日（日）午前10時																																																																																
成 果	<p>日本画、洋画、書、彫刻、陶芸の各部門の公募作品に加え、各部門の先生方による無鑑査作品等を一堂に会して展示し、すぐれた芸術作品の鑑賞する機会を提供することにより、芸術文化の振興と技術の向上に貢献できた。</p> <p>&lt;出品点数&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>日本画</th> <th>洋画</th> <th>書</th> <th>彫塑工芸</th> <th>陶芸</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公募</td> <td>19点</td> <td>50点</td> <td>64点</td> <td>4点</td> <td>32点</td> <td>169点</td> </tr> <tr> <td>無鑑査</td> <td>8点</td> <td>8点</td> <td>18点</td> <td>—</td> <td>2点</td> <td>36点</td> </tr> <tr> <td>招待</td> <td>—</td> <td>1点</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1点</td> <td>2点</td> </tr> <tr> <td>実行委員</td> <td>4点</td> <td>10点</td> <td>12点</td> <td>—</td> <td>3点</td> <td>29点</td> </tr> <tr> <td>審査員</td> <td>1点</td> <td>1点</td> <td>6点</td> <td>1点</td> <td>1点</td> <td>10点</td> </tr> <tr> <td>特別出品</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1点</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1点</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>32点</td> <td>70点</td> <td>101点</td> <td>5点</td> <td>39点</td> <td>247点</td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;観覧者数&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>10月4日</th> <th>10月5日</th> <th>10月6日</th> <th>10月7日</th> <th>10月8日</th> <th>10月9日</th> <th>10月10日</th> <th>10月11日</th> <th>10月12日</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>312人</td> <td>153人</td> <td>204人</td> <td>153人</td> <td>11人</td> <td>188人</td> <td>187人</td> <td>152人</td> <td>208人</td> <td>1,568人</td> </tr> </tbody> </table>					区分	日本画	洋画	書	彫塑工芸	陶芸	計	公募	19点	50点	64点	4点	32点	169点	無鑑査	8点	8点	18点	—	2点	36点	招待	—	1点	—	—	1点	2点	実行委員	4点	10点	12点	—	3点	29点	審査員	1点	1点	6点	1点	1点	10点	特別出品	—	—	1点	—	—	1点	計	32点	70点	101点	5点	39点	247点	10月4日	10月5日	10月6日	10月7日	10月8日	10月9日	10月10日	10月11日	10月12日	計	312人	153人	204人	153人	11人	188人	187人	152人	208人	1,568人
区分	日本画	洋画	書	彫塑工芸	陶芸	計																																																																											
公募	19点	50点	64点	4点	32点	169点																																																																											
無鑑査	8点	8点	18点	—	2点	36点																																																																											
招待	—	1点	—	—	1点	2点																																																																											
実行委員	4点	10点	12点	—	3点	29点																																																																											
審査員	1点	1点	6点	1点	1点	10点																																																																											
特別出品	—	—	1点	—	—	1点																																																																											
計	32点	70点	101点	5点	39点	247点																																																																											
10月4日	10月5日	10月6日	10月7日	10月8日	10月9日	10月10日	10月11日	10月12日	計																																																																								
312人	153人	204人	153人	11人	188人	187人	152人	208人	1,568人																																																																								
成果に係る評価	<p>平成21年度は前年より2日間開催日を増やし、観覧者が増加した。（10月8日は台風の影響により減少）</p> <p>石巻市美術展は、石巻地域最大の公募展であるとともに、石巻地域の芸術文化振興には欠かせない事業であり、同事業は継続して行う必要がある。経費的には差は出ないが、今後は入選・落選を設定するなど、運営面での改善の余地はある。</p> <p>また、平成22年度までは、現状のまま実施するべきと考えられるが、歴史文化資料展示施設整備が平成23年度に始まることにより、石巻文化センターでの現状のままの実施が不可能になるので、平成23年度以降の開催形態については、検討していく必要がある。</p>																																																																																
予算の執行状況	（単位：円）																																																																																
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																														
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																																																											
	360,000	360,000				360,000																																																																											

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち
	6 項	社会教育費		第 3 節	地域に対する愛着や誇りをはぐくむ
	1 目	社会教育総務費		( 1 )	多様な文化芸術活動の広がりと交流を推進する
小 事 業	芸術文化振興費				
事 業 名	青少年文化芸術鑑賞事業				
目的及び事業内容	芸術鑑賞の機会に恵まれない地域の青少年に対し、優れた生の芸術を鑑賞してもらい、豊かな情操を涵養する。学校の総合的学習時間等を利用して、優秀な舞台芸術の鑑賞を提供し、感受性豊かな人間としての育成を図るために必要な事業である。				
取 組 実 績	1 巡回小劇場				
	開催日	場所	公演内容	鑑賞学校	
	9月28日	中津山第二小学校	邦楽アンサンブル日本の調べ	中津山第二小学校、中津山第一小学校5～6年生、桃生小学校5～6年生	
	9月28日	鹿妻小学校	邦楽アンサンブル日本の調べ	鹿妻小学校	
	9月29日	山下小学校	邦楽アンサンブル日本の調べ	山下小学校	
	2 青少年劇場小公演				
	開催日	場所	公演内容	鑑賞学校	
	9月8日	前谷地小学校	水野与旨久マリンバコンサート	前谷地小学校	
	9月9日	稲井中学校	水野与旨久マリンバコンサート	稲井中学校（インフルエンザのため中止）	
	9月10日	雄勝小学校	水野与旨久マリンバコンサート	雄勝小学校・船越小学校・大須小学校（小学校は4年生以上）・雄勝中学校・大須中学校	
	9月10日	相川小学校	水野与旨久マリンバコンサート	相川小学校・吉浜小学校	
	3 本物の舞台芸術体験事業				
	開催日	場所	公演内容	鑑賞学校	
	9月18日	渡波小学校	オペレッタ劇団ともしび	渡波小学校	
	12月8日	住吉小学校	江戸系あやつり人形座	住吉小学校	
12月9日	河南東中学校	江戸系あやつり人形座	河南東中学校		
12月17日	広淵小学校	オペラ「カルメン」	広淵小学校		
1月18日	貞山小学校	怪談物	貞山小学校		
2月5日	中津山第二小学校	演劇「おじいさんの口笛」	中津山第二小学校		
成 果	児童・生徒に対し、優れた生の芸術を鑑賞する機会を提供することにより、豊かな情操を養い豊かな人間形成に寄与した。				
成果に係る評価	巡回小劇場等は、宮城県などが行うもので、市町村が一部の経費を負担するだけで質の高い芸術を小中学生へ提供できるもので、最小の経費で実施できるものであるため、今後とも継続していく。				
（単位：円）					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳		
			国（県）支出金	地方債	その他
	1,342,500	1,295,700			

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち																																		
	6 項	社会教育費		第 3 節	地域に対する愛着や誇りをはぐくむ																																		
	1 目	社会教育総務費		( 1 )	多様な文化芸術活動の広がりと交流を推進する																																		
小 事 業	芸術文化振興費																																						
事 業 名	文化芸術団体育成事業																																						
目的及び事業内容	地域の芸術文化の発展を助長するとともにその活動を通じて、地域文化の振興と向上に寄与する。芸術文化の推進には、市民団体である文化協会、財団法人石巻市文化スポーツ振興公社と行政が協働して推進することが重要であり、今後とも本市の芸術文化の推進には、欠かせない民間団体である。																																						
取 組 実 績	<p>1 石巻市文化協会の運営の支援 以下の目的のため設立した石巻市文化協会の運営を支援した。</p> <p>(1) 地域の芸術文化の発展を助長するとともに、その活動を通じて地域文化の振興と向上に寄与する。</p> <p>(2) 芸術文化団体相互の連絡調整を図る。</p> <p>(3) 内外の優れた芸術団体の交流。</p> <p>(4) 歴史・伝統・文化を生かした街づくりの推進に寄与する。</p> <p>2 石巻市文化協会の概要 (平成22年3月31日現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設立年月日</th> <th>加盟団体数等</th> <th>会員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石巻市文化協会</td> <td>平成17年6月18日</td> <td>215団体 (団体数には賛助会員19の個人、団体を含む)</td> <td>5,938人</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 主要事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>開催期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第16回石巻芸術文化祭</td> <td>「舞台公演」平成21年10月25日(日) 「展示会」平成21年11月5日(木)～8日(日)</td> </tr> <tr> <td>かほく文化祭</td> <td>平成21年10月31日(土)～11月3日(火)</td> </tr> <tr> <td>芸能音楽祭</td> <td>平成21年11月1日(日)</td> </tr> <tr> <td>神楽大会</td> <td>平成21年11月3日(火)</td> </tr> <tr> <td>第3回石巻市合同文化祭</td> <td>平成21年11月1日(日)～11月3日(火)</td> </tr> <tr> <td>第33回おがつ文化祭</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第24回雄勝文化講演会</td> <td>平成21年9月29日(月)</td> </tr> <tr> <td>第26回おがつ芸能祭</td> <td>平成21年10月11日(日)</td> </tr> <tr> <td>第5回かなん文化まつり</td> <td>平成21年6月6日(日)</td> </tr> <tr> <td>桃生地区文化祭</td> <td>平成21年10月31日(土)</td> </tr> <tr> <td>桃生地区芸能祭</td> <td>平成22年1月24日(日)</td> </tr> <tr> <td>北上地区文化祭</td> <td>平成21年10月30日(金)～31日(土)</td> </tr> </tbody> </table>					名称	設立年月日	加盟団体数等	会員数	石巻市文化協会	平成17年6月18日	215団体 (団体数には賛助会員19の個人、団体を含む)	5,938人	事業名	開催期間	第16回石巻芸術文化祭	「舞台公演」平成21年10月25日(日) 「展示会」平成21年11月5日(木)～8日(日)	かほく文化祭	平成21年10月31日(土)～11月3日(火)	芸能音楽祭	平成21年11月1日(日)	神楽大会	平成21年11月3日(火)	第3回石巻市合同文化祭	平成21年11月1日(日)～11月3日(火)	第33回おがつ文化祭		第24回雄勝文化講演会	平成21年9月29日(月)	第26回おがつ芸能祭	平成21年10月11日(日)	第5回かなん文化まつり	平成21年6月6日(日)	桃生地区文化祭	平成21年10月31日(土)	桃生地区芸能祭	平成22年1月24日(日)	北上地区文化祭	平成21年10月30日(金)～31日(土)
名称	設立年月日	加盟団体数等	会員数																																				
石巻市文化協会	平成17年6月18日	215団体 (団体数には賛助会員19の個人、団体を含む)	5,938人																																				
事業名	開催期間																																						
第16回石巻芸術文化祭	「舞台公演」平成21年10月25日(日) 「展示会」平成21年11月5日(木)～8日(日)																																						
かほく文化祭	平成21年10月31日(土)～11月3日(火)																																						
芸能音楽祭	平成21年11月1日(日)																																						
神楽大会	平成21年11月3日(火)																																						
第3回石巻市合同文化祭	平成21年11月1日(日)～11月3日(火)																																						
第33回おがつ文化祭																																							
第24回雄勝文化講演会	平成21年9月29日(月)																																						
第26回おがつ芸能祭	平成21年10月11日(日)																																						
第5回かなん文化まつり	平成21年6月6日(日)																																						
桃生地区文化祭	平成21年10月31日(土)																																						
桃生地区芸能祭	平成22年1月24日(日)																																						
北上地区文化祭	平成21年10月30日(金)～31日(土)																																						
成 果	文化協会及び文化団体の事業を支援することにより、芸術文化の振興が図られた。																																						
成果に係る評価	文化協会は、旧市町にそれぞれ存在し、民間の文化振興の中核を担っている組織であった。合併後に大同団結し、石巻市文化協会が誕生し、旧市町を横断した活動が始まっている。また、それぞれの地域に根ざした活動も続けていく必要があり、今後とも石巻市文化協会に対しては継続して支援していく必要がある。各団体の毎年の収入・支出に占める補助金の割合については、旧町時代からの経緯もあり、単純に公平性だけで統一すると、活動が困難になる団体もあり、弊害が大きいので、検討中である。																																						
予算の執行状況	(単位：円)																																						
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																	
1,645,000	1,645,000				1,645,000																																		